

施策評価

基本方針	03 子どもがのびのびと成長し地域の絆で育むまちをつくる					
施策	14 学校教育					
施策目標	地域とともにある学校で児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、主体性と思いやりの心を持つ人を育てます。					
評価指標	指標名	各学校の取組に対するアンケートで「満足（８割）」と答えた保護者の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	34.0	目標値（R7年度）	60.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	30.0	29.9	32.0	31.9	－
	達成率	50.0	49.8	53.3	53.2	－
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	1,356,785	2,152,276	2,182,656	1,852,670	－
	実績	835,519	1,497,807	1,502,765	1,421,085	－
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和６年度の主な成果と課題	「コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育」の推進のもと、市内６地区の全てが学校運営協議会を基盤に、保護者・地域の皆様から惜しめない理解と協力、支援をいただきながら教育活動を推進し、児童生徒に知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことができました。今後の課題は、本市の「小中一貫教育の成果を見る形で示す」ことで、それぞれの地区の特色を生かした教育課程を確実に実施し、発信していくことです。					
各施策の展開に対する令和６年度の主な成果と課題	01 確かな学力の育成、豊かな心の育成及び健康・体力の増進					
	指標名	埼玉県学力・学習状況調査における学力を伸ばした児童生徒の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	64.8	目標値（R7年度）	85.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.5	70.4	57.4	62.3	－
	達成率	87.6	82.8	67.5	73.3	－
	県学力・学習状況調査結果の分析を各校で行い、その分析結果を「主体的・対話的で深い学び」の実施や児童生徒個々のつまずきに応じたきめ細かな指導に生かしました。また、同調査の「非認知能力」や「学習方略」に着目した教育実践にも取り組んでいます。今後も各種取組の工夫改善を図り、学力の向上を目指します。					
	02 質の高い学校教育の推進					
	指標名	授業における児童生徒のＩＣＴ機器利用率				
	単位	%	現状値（R元年度）	0.8	目標値（R7年度）	95.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	57.0	70.0	89.0	94.0	－
	達成率	60.0	73.7	93.7	98.9	－
	GIGAスクール構想に基づく児童生徒１人１台学習用端末をはじめ、授業用大型ディスプレイ、指導者用デジタル教科書や学習者用デジタル教科書など、授業におけるＩＣＴ機器の活用を推進しました。今後も効果的活用に向けた研究等を進め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていきます。					
	03 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進					
	指標名	中学校１年生の不登校の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	2.2	目標値（R7年度）	1.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	5.2	4.9	4.7	6.6	－
	達成率	△250.0	△225.0	△208.3	△366.7	－
	全国的に不登校の児童生徒が急増する中、各校では教育相談体制の確立を基盤に、ふれあい相談員、臨床心理士、県費SSW・SCの活用及び関係機関等との連携に注力するとともに、市内２か所の教育支援センターでは社会的な自立の促進や人間関係づくり、学力の補充等を行っています。今後も不登校対策を推進します。					
	04 小・中学校の統合を含む施設環境の維持向上					
	指標名	施設一体型一貫校の設置数				
	単位	校	現状値（R元年度）	0	目標値（R7年度）	3
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実績値	0	0	1	2	－	
達成率	0.0	0.0	33.3	66.7	－	
義務教育学校の開設に向け、高麗小中学校の改修工事を行いました。また、高麗川小学校の校舎、体育館等の改修工事基本設計を行いました。更に各学校の体育館（高麗小中学校を除く。）への空調設備の設置（設計、発注）を進めました。このほか、各学校施設の修繕等、維持管理を行いました。						
05 学校給食の充実						
指標名	給食に地場産食材を使用した日の割合					
単位	%	現状値（R元年度）	57.0	目標値（R7年度）	60.0	
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
実績値	62.6	70.7	65.1	66.0	－	
達成率	104.3	117.8	108.5	110.0	－	
児童生徒の心身の健全な発達に資するため、栄養バランスに配慮するとともに安全で安心な給食を提供しました。また、業務委託している調理、配送についても円滑に行うことができました。このほか、調理準備室にエアコンを設置する等の暑さ対策、調理棟調理室シャッター修繕など、不具合箇所の修繕等を行いました。						

事務事業評価

施策の展開	01 確かな学力の育成、豊かな心の育成及び健康・体力の増進		
施策の展開概要	① 児童生徒一人一人の学力を伸ばす教育を推進します。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現により、思考力、判断力、表現力など新たな時代に求められる資質・能力を育成します。 ② 小・中学校に英語指導助手（ＡＥＴ）を配置するなど、外国語教育の充実を推進します。 ③ 学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力を育成するため、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な学習の充実を推進します。 ④ 豊かな心を育むため、体験活動の充実や道徳教育、人権教育を推進し意識の向上を図ります。 ⑤ 各学校や教育センターに相談員を配置するなど、不登校やいじめの未然防止、早期発見・早期対応を図ります。また、教育センターに臨床心理士を配置するなど、専門性の高い相談にも対応していきます。 ⑥ 基本的な生活習慣の確立などの健康の保持増進、体力向上を図ることで、健やかな体を育成します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
英語教育推進事業	A	昨年度同様、高学年で年間70時間程度、中学年で年間35時間程度を確保することができました。	中学校後期課程を中心に更なる実践的なコミュニケーション能力を育むため、ＡＥＴが担当する授業時間数を増やせるよう、ＡＥＴの増員を検討する必要があります。
学校教育課			
25,366			
206			
教育支援事業	A	教育支援センター（センター：４人、高萩中：４人）のうち、中学生７人が学校に復帰しました。５人が志望校に合格することができました。	不登校児童生徒数の増加とともに、問題も複雑化しています。臨床心理士等による面談が行える機会を増やす等、より専門的な対応を行う必要があります。
学校教育課			
366			
207			
教育相談事業	A	教育相談員２人で電話や面接による教育相談を行い、教育内容に応じたカウンセリングや助言等、必要な支援を行うことができました。	相談件数が増加し、相談内容も複雑化しています。関係機関を含めたケース会議を行い、各々の立場で意見交換を行い、児童生徒に寄り添いながら取り組む必要があります。
学校教育課			
123			
207			
就学支援事業	A	学校の判断だけでなく、医療関係者等の専門的な分野からの助言を受け、望ましい就学先の判断やその後に必要な支援等の方針を協議することができました。	教育相談や就学相談の件数が増加傾向にあり、発達障がい等の児童生徒数も増加しています。専門的な相談を実施できる人員の増加も必要となっています。
学校教育課			
1,109			
208			
就学時健康診断事業	A	就学時健康診断を実施し、就学予定者の心身の発達状況を把握するとともに、保護者の子どもに対する状況認識が深まり、就学準備につながりました。	学校保健安全法に基づき実施が義務付けられている事業であり、就学予定者が就学時健康診断を受診することができるよう、引き続き実施する必要があります。
学校教育課			
1,439			
208			
学習サポート事業	A	放課後日高塾の実施により、子どもたちの自主的な学びの機会を創出することができました。また、外部指導者の指導により、部活動の充実を図ることができました。	放課後日高塾の開催に当たり、講師等の人材を継続して確保する必要があります。また、部活動の地域展開に向け、あらゆる視点から検討を進める必要があります。
学校教育課			
1,387			
209			

小学校健康保健管理事業	A	豊かな心の育成と健康や体力の向上を目指し、質の高い学校教育を推進するに当たり、その礎となる児童及び教職員の健康について、保持増進を図ることができました。	学校保健安全法に基づき実施されている事業であり、引き続き児童及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の充実につなげていく必要があります。
学校教育課			
8,960			
213			
小学校学校教材整備事業	A	学習指導要領等の教育内容に即した学校図書、教科用品等の消耗品や教材備品等を購入し、教育環境の充実を図ることができました。	学習指導要領に基づいた教育活動を実践するためには、学校図書、教科用品等の消耗品や準教科書、教材備品等を精査し、計画的な整備を進めていく必要があります。
学校教育課			
8,833			
214			
小学校教職員用指導書整備事業	A	小学校用教科書の改訂に伴い、教師が授業で使用する教師用指導書や教科書等を計画的に各小学校及び教育センターに整備することができました。	教科書は4年ごとに採択されるため、計画的に教師用の教科用図書や指導書を整備する必要があります。
学校教育課			
14,980			
214			
小学校社会科副読本作成事業	A	検討委員会では学習指導要領の内容についての理解や研究を進め、次回の改訂作業に向け、指導の展開例を着実に作成しました。	検討委員会の人選や学習指導要領の改訂状況を見据えながら、先を見通した計画を事前に行うことにより、児童にとって、より良い副読本の整備をする必要があります。
学校教育課			
33			
215			
小学校児童就学援助費及び奨励費補助事業	A	経済的に就学困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して支援することにより、義務教育の円滑な実施や保護者の経済的な負担を軽減することができました。	物価の高騰など経済情勢の変化を背景に、就学援助費及び奨励費の補助単価が上昇傾向にあることから、財源の確保が課題となっています。
学校教育課			
16,748			
215			
中学校健康保健管理事業	A	豊かな心の育成と健康や体力の向上を目指し、質の高い学校教育を推進するに当たり、その礎となる生徒及び教職員の健康について、保持増進を図ることができました。	学校保健安全法に基づき実施されている事業であり、引き続き生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の充実につなげていく必要があります。
学校教育課			
6,932			
217			
中学校学校教材整備事業	A	学習指導要領等の教育内容に即した学校図書、教科用品等の消耗品や教材備品等を購入し、教育環境の充実を図ることができました。	学習指導要領に基づいた教育活動を実践するためには、学校図書、教科用品等の消耗品や準教科書、教材備品等を精査し、計画的な整備を進めていく必要があります。
学校教育課			
7,328			
218			
中学校教職員用指導書整備事業	A	学習指導要領に沿った内容の教科用図書、指導書を活用することで、指導内容や指導方法の工夫や改善がなされ、学習の充実を図ることができました。	教科書は4年ごとに採択されるため、計画的に教師用の教科用図書や指導書を整備する必要があります。
学校教育課			
658			
218			
中学校キャリア教育推進事業	A	1年生を対象に社会体験チャレンジを実施し、望ましい職業観を養い、豊かに生きる力を育みました。	生徒の参加率を上げ、参加企業等を増やすことで、事業の拡大を図れますが、キャリア教育全体を通した学校の協力も必要となります。
学校教育課			
70			
219			

中学校生徒就学援助費及び 奨励費補助事業	A	経済的に就学困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して支援することにより、義務教育の円滑な実施や保護者の経済的な負担を軽減することができました。	物価の高騰など経済情勢の変化を背景に、就学援助費及び奨励費の補助単価が上昇傾向にあることから、財源の確保が課題となっています。
学校教育課			
12,397 219			
義務教育学校健康保健管理 事業	A	豊かな心の育成と健康や体力の向上を目指し、質の高い学校教育を推進するに当たり、その礎となる児童生徒及び教職員の健康について、保持増進を図ることができました。	学校保健安全法に基づき実施されている事業であり、引き続き児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の充実につなげていく必要があります。
学校教育課			
4,877 221			
義務教育学校学校教材整備 事業	A	学習指導要領等の教育内容に即した学校図書、教科用品等の消耗品や教材備品等を購入し、教育環境の充実を図ることができました。	学習指導要領に基づいた教育活動を実践するためには、学校図書、教科用品等の消耗品や準教科書、教材備品等を精査し、計画的な整備を進めていく必要があります。
学校教育課			
5,358 222			
義務教育学校教職員用指導 書整備事業	A	小学校用教科書（前期課程分）改訂に伴い、教師が授業で使用する教師用指導書や教科書等を計画的に各義務教育学校及び教育センターに整備することができました。	教科書は4年ごとに採択されるため、計画的に教師用の教科用図書や指導書を整備する必要があります。
学校教育課			
5,238 222			
義務教育学校社会科副読本 作成事業	A	検討委員会では学習指導要領の内容についての理解や研究を進め、次回の改訂作業に向け、指導の展開例を着実に作成しました。	検討委員会の人選や学習指導要領の改定状況を見据えながら、先を見通した計画を事前に行うことにより、児童にとって、より良い副読本の整備をする必要があります。
学校教育課			
17 223			
義務教育学校キャリア教育 推進事業	A	7年生を対象に社会体験チャレンジを実施し、望ましい職業観を養い、豊かに生きる力を育みました。	生徒の参加率を上げ、参加企業等を増やすことで、事業の拡大を図れますが、キャリア教育全体を通した学校の協力も必要となります。
学校教育課			
16 223			
義務教育学校児童生徒就学 援助費及び奨励費補助事業	A	経済的に就学困難な児童生徒や特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して支援することにより、義務教育の円滑な実施や保護者の負担を軽減することができました。	物価の高騰など経済情勢の変化を背景に、就学援助費及び就学奨励費の補助単価が上昇傾向にあることから、財源の確保が課題となっています。
学校教育課			
8,941 224			

事務事業評価

施策の展開	02 質の高い学校教育の推進		
施策の展開概要	① 教職員の資質向上を図るため、専門性の高い講師を招いて、教職員研修の充実を図ります。 ② G I G Aスクール構想を実現し、児童生徒一人一人がＩＣＴを十分に活用し授業に取り組める環境の整備を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入学準備金融資事務	A	広報ひだかや市ホームページ等を活用し、広く制度の周知を図ることができました。	融資を求めている人に制度の周知ができるよう、引き続き、幅広く広報する必要があります。
教育総務課			
517			
197			
学校運営事務	A	経常経費の上昇を抑え、効率的かつ効果的な予算執行を行いました。	全て経常的な経費ですが、今後も効率的かつ効果的な予算執行に努めます。
学校教育課			
33,428			
209			
教育研究会支援事業	A	27からなる事業部ごとに、研修会や講演会などの事業を積極的に行うことで、教職員の職務能力や指導力の向上を図り、学校教育の振興・発展につなげることができました。	今後も社会情勢等によって変化が求められる学校教育現場において、真に必要とされる教育事業を十分に精査し、実施していきます。
学校教育課			
950			
210			
教育センター事務	A	教育センターの業務全般に係る事務について、適切に実施することができました。	全て経常的な経費ですが、今後も効率的かつ効果的な予算執行に努めます。
学校教育課			
956			
210			
教職員指導力向上事業	A	今後の教育課題の解決に向け、教職員の資質向上を図るよい機会となりました。	最新の教育動向や本市の実情を踏まえた講師を選ぶ必要があり、事業の目的や予算に配慮しながら計画する必要があります。
学校教育課			
125			
211			
海外留学疑似体験事業	A	海外留学を擬似的に体験できるよう、再現性や臨場感のある会場設営に加え、A E Tによる実践的な対応により、楽しみながら英語を学ぶ充実した事業となりました。	生徒の参加率を上げるため、学校との連絡調整や家庭への協力依頼を推進する必要があります。
学校教育課			
4,852			
211			
教育の情報化事業	A	メッセージ配信システムを有効活用することで、校務の情報化を図りました。	老朽化した校務ＰＣやタブレット端末を入れ替えることで、充実したＩＣＴ環境の維持を図り、ＩＣＴ機器の活用を推進する必要があります。
学校教育課			
73,273			
212			

小学校 I C T 環境整備事業	A	学習用タブレット端末など I C T 機器を活用することで、児童の関心を高め、主体的な学習活動に結びつけることができました。	各学校における I C T 機器を整備し、I C T 機器活用の推進を図る必要があります。
学校教育課			
14, 180			
216			
中学校 I C T 環境整備事業	A	学習用タブレット端末など I C T 機器を活用することで、生徒の関心を高め、主体的な学習活動に結びつけることができました。	各学校における I C T 機器を整備し、I C T 機器活用の推進を図る必要があります。
学校教育課			
427			
220			
教職員研究発表事業	A	研究主題に基づく研究を深め、更に発表を実践することで、指導方法の工夫や改善を図ることができました。	学校が主体的に研究を進めるに当たって、支援策を検討する必要があります。
学校教育課			
0			
-			
義務教育学校 I C T 環境整備事業	A	学習用タブレット端末など I C T 機器を活用することで、児童生徒の関心を高め、主体的な学習活動に結びつけることができました。	各学校における I C T 機器を整備し、I C T 機器活用の推進を図る必要があります。
学校教育課			
7, 582			
224			

事務事業評価

施策の展開	03 コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の推進		
施策の展開概要	① 学校運営協議会を中心に学校、家庭、地域が連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」を推進します。 ② 9年間を一貫した系統性や連続性を重視した教育内容の指導を推進します。また、地域の特性を生かしたコミュニティ・スクールを基盤（基礎）とした教育を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決方策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
コミュニティ・スクール推進事業	A	小・中学校との情報共有や連携を図ることで、高麗地区義務教育学校及び3地区の小中一貫教育校の開校に向けた準備を円滑に行うことができました。	小中一貫教育の更なる推進のため、引き続き、地域との連携や協働を進める必要があります。
学校教育課			
5,196			
212			

事務事業評価

施策の展開	04 小・中学校の統合を含む施設環境の維持向上		
施策の展開概要	① 安全で快適な学習環境を確保するため、既存施設の老朽化対策などを図ります。また、小中一貫教育を見据えた学校教育施設の改修を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
小学校維持管理事業	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、児童が安心・安全に学校施設を利用することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
149,325			
198			
中学校維持管理事業	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、生徒が安心・安全に学校施設を利用することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
554,698			
199			
高麗川小学校校舎等改修事業	B	基本設計を実施することで、施設が抱える課題や現状を把握し、改修方針を整理することができました。	既存施設の改修であり、工期・コスト面から全てを改修することが困難であるため、改修内容を精査する必要があります。
教育総務課			
15,620			
198			
義務教育学校維持管理事業	A	老朽化した箇所を修繕し、適切に維持管理を行ったことにより、施設が要因となった負傷事故もなく、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
76,195			
200			

事務事業評価

施策の展開	05 学校給食の充実		
施策の展開概要	① 児童生徒の心と体が大きく成長できるよう安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理を徹底します。また、地場産食材を積極的に使用するとともに、児童生徒が適切な食習慣を身に付け、生涯にわたる健康づくりの基礎を培うよう、食育の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
学校給食運営事業	A	栄養のバランスに配慮した献立内容で、安心安全な学校給食を提供することで、児童生徒の心身の健全な発達に資することができました。	既存施設を継続して使用することから、引き続き施設の設備について、定期的な点検や修繕をし、安心安全な学校給食が提供をできるよう努めます。
教育総務課			
145,173			
203			
学校給食費管理事業	A	各学校で集金した学校給食費の収納管理及び食材費の支払については、市の会計規則等に基づいて実施し、会計処理の透明化と安全性の確保が図れました。	学校給食費無償化の開始に伴い、過去の債権の回収がより難しくなることが予想されます。
教育総務課			
208,033			
203			

施策評価

基本方針	03 子どもがのびのびと成長し地域の絆で育むまちをつくる					
施策	15 青少年健全育成					
施策目標	地域と連携・協働した教育の推進により、学校、家庭、地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ります。					
評価指標	指標名	子育てについて地域で支え合う雰囲気があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	21.0	目標値（R7年度）	22.5
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	31.9	25.7	26.6	28.1	—
	達成率	141.8	114.2	118.2	124.9	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	3,642	3,158	4,548	4,642	—
	実績	1,794	2,202	2,695	3,328	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	ひ・まわり探検隊や放課後子ども教室をはじめ、青少年の主張大会や二十歳のつどいを開催するなど、子どもや青少年が楽しめるとともに郷土愛の醸成、青少年の健全な育成に資する事業を引き続き実施しました。各種事業の実施に当たっては、学校、家庭、地域が協働して取り組めるよう努めていますが、今後は、更に地域学校協働本部とも連携を密にして、地域で協働し、事業を推進していく必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 郷土愛の醸成					
	指標名	ひ・まわり探検隊の参加率				
	単位	%	現状値（R元年度）	18.2	目標値（R7年度）	20.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	12.1	13.5	13.4	14.3	—
	達成率	60.5	67.5	67.0	71.5	—
	ひ・まわり探検隊については、令和5年度から教室数を増やし、探検隊登録者数及び探検隊参加率の増加につなげることができました。また、企画運営は、市民ボランティアによる実行委員会が行い、探検・体験教室は、生徒や保護者、埼玉女子短期大学の学生等、地域の皆さんにもご協力をいただいて実施できました。					
	02 青少年の健全育成					
	指標名	刑法犯少年の人口比				
	単位	%	現状値（R元年度）	1.8	目標値（R7年度）	3.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	2.1	1.0	2.2	3.4	—
	達成率	175.0	266.7	166.7	66.7	—
	青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会を開催し、青少年の非行防止対策と有害環境の浄化及び「日高市いじめ防止等に関わる取組」を協議しました。非行防止活動は、青少年育成団体によるパトロールに努めました。埼玉女子短期大学等と連携し、子ども大学、また、青少年の主張大会や二十歳のつどいを開催しました。					
	03 体験活動・多世代との交流活動の推進					
	指標名	放課後子ども教室参加延べ人数（6小学校）				
	単位	人	現状値（R元年度）	3,005	目標値（R7年度）	3,200
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0	153	383	1,065	—
	達成率	0.0	4.8	12.0	33.3	—
	放課後子ども教室は、令和6年度に1校が再開し、全6学校区で再開できました。地域の人材を指導者として、スポーツや文化活動、異学年交流等を実施しました。また、学校、地域、家庭が連携し、教室開設日数及び参加者が増加となりました。今後も学校、地域、家庭、地域学校協働本部と連携していく必要があります。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 郷土愛の醸成		
施策の展開概要	① 地域の歴史や文化、産業などを学ぶ機会を提供し、郷土愛の醸成を図ります。 ② 講座や体験教室、イベント等を通じて、市の歴史や文化などを伝承します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
ひ・まわり探検隊事業	A	地域連携協定を結んでいる企業や大学へのアプローチ等で110の体験教室を開催することができました。	ボランティアスタッフが不足しているため、具体的な職務内容を明確化し、SNSなどのツールを活用して、広く募集していく必要があります。
生涯学習課			
442			
226			
子ども会育成事業	B	新型コロナウイルス感染防止及び熱中症予防のため、おらが村の相撲大会は中止となりましたが、代替事業としてひだか郷土かるた大会を開催することができました。	子どもが減少し、全ての地区連絡協議会が休会になったため、事業実施の際にボランティアを募集し計画的に運営する必要があります。
生涯学習課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 青少年の健全育成		
施策の展開概要	① 学校、家庭、地域などが連携した非行防止キャンペーンや講演会、地域行事での啓発活動など、青少年育成のための活動を推進します。 ② 青少年の非行や犯罪を未然に防止するため、地域パトロールを継続して実施するとともに、啓発活動を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
青少年育成事業	A	全ての青少年事業を地域と連携し、市民参加のもとに実施できました。	近年、青少年を取り巻く社会環境、とりわけ犯罪等に巻き込まれることが多くなっているため、市民の協働意識や社会規範の醸成を更に進めていく必要があります。
生涯学習課			
1,222			
227			
二十歳のつどい開催事業	A	実行スタッフと協力して、式典会場にバルーンアート、地区ごとの交流会会場に看板を設置するなど会場を華やかに彩り、出席者の思い出に残る式典が開催できました。	出席者を増やすためには、過去の出席者や対象者の意見をアンケート等で収集してニーズを把握し、参加率を高める必要があります。
生涯学習課			
762			
227			

事務事業評価

施策の展開	03 体験活動・多世代との交流活動の推進		
施策の展開概要	① 地域でのコミュニケーションを支援するため、大人と子どもたちが交流できる場と子どもの居場所づくりを進めます。 ② 地域で子どもを育てる環境をつくるため、学校、家庭、地域と連携した事業を実施します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
放課後子ども教室推進事業	A	前年度は、5学校区で開催しましたが、令和6年度は、全6学校区で開催することができました。	地区によって実施日数が異なります。平等に学習の機会を提供するため、実施日数を一定数にする必要があります。
生涯学習課			
902			
228			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	16 生活環境					
施策目標	快適で衛生的な生活環境の確保に努めます。					
評価指標	指標名	住んでいる地域について快適な環境だと感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R2年度）	82.7	目標値（R7年度）	83.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	78.2	76.1	75.6	73.8	－
	達成率	94.2	91.7	91.1	88.9	－
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	17,793	17,822	17,919	20,906	－
	実績	10,861	10,695	11,792	7,606	－
	【施策評価】評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	生活排水による河川の水質汚濁の防止に努めました。騒音、振動、悪臭等の市民相談について、関係機関と連携し早期解決に向けて対応しました。市内主要幹線道路の自動車交通騒音測定面的評価を行いました。快適な生活環境を維持するため、マナーとモラル向上の啓発を更に進める必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 生活環境の保全					
	指標名	空き地の適正管理受託件数				
	単位	件	現状値（R元年度）	16	目標値（R7年度）	25
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	15	13	14	12	－
	達成率	60.0	52.0	56.0	48.0	－
	空き地の適正管理のため、所有者などに改善措置を依頼、また、所有者が遠方に居住している等で不良状態となっている空き地については、条例に基づき適切な雑草等の除去を行い、清潔な生活環境を保持しました。市内主要幹線道路（一般国道407号）5.1kmの自動車交通騒音測定面的評価を行いました。					
	02 河川等の水質汚濁の防止					
	指標名	合併処理浄化槽の設置割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	72.6	目標値（R7年度）	75.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.1	74.4	74.6	74.9	－
	達成率	98.8	99.2	99.5	99.9	－
	地震等の災害に強く、被災時にも迅速に衛生環境を確保できる強靱な污水处理システムである合併処理浄化槽への転換は順調に進んでいます。合併処理浄化槽を適正に維持するため、保守点検等についても周知に努めます。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 生活環境の保全		
施策の展開概要	① 騒音、振動及び悪臭などの公害問題、空き地の雑草問題、ごみ屋敷、害虫の駆除など多様化、複雑化している市民相談に対応します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生活環境衛生事業	A	空き地の雑草の繁茂など、生活環境に関する相談等に対応し、衛生的な環境の確保に努めました。	空き地に対する相談が多く寄せられているため、土地の所有者に対して、適正な管理を促す必要があります。
環境課			
2,814			
70			
公害対策事業	A	公害（水質汚濁、騒音、悪臭）に関する苦情相談に対応しました。	公害に関する苦情は解決までに時間を要することが多いため、早期解決に向けた取組を図る必要があります。
環境課			
1,536			
70			
狂犬病予防対策事業	A	狂犬病予防集合注射を市内の公民館等14か所で実施し、687頭の予防接種を行いました。	狂犬病予防注射接種率が75%前後の横ばい傾向にあるため、効果的な対策を検討する必要があります。
環境課			
301			
71			

事務事業評価

施策の展開	02 河川等の水質汚濁の防止		
施策の展開概要	① 単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換、及び合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進することで、放流水による河川等の水質汚濁を防止します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生活排水対策事業	A	単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換について補助金を拠出することで促進を図り、公共水域の水質を保全しました。	浄化槽の適正な維持管理の必要性を周知する必要があります。また、法定検査の受検率向上に向けた効果的な取組を検討する必要があります。
環境課			
2,955			
73			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	17 自然環境					
施策目標	豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然環境の保全や地球温暖化対策を推進します。					
評価指標	指標名	住んでいる地域の自然環境は守られていると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	58.2	目標値（R7年度）	61.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	67.3	64.2	63.4	66.5	－
	達成率	110.3	105.2	103.9	109.0	－
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	20,380	10,854	39,021	26,818	－
	実績	16,559	7,681	21,583	23,793	－
	【施策評価】評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	「ゼロカーボンシティ共同宣言」を実践するため、各種事業を実施しました。小学生等に対する環境教育への活用のため「子ども向け脱炭素ロードマップ」を策定しました。家庭における消費電力の削減と温室効果ガスの排出量削減などを図るため、省エネ効果の高い家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、給湯器及びLED照明器具）を購入（買換え）した人に対し、購入費用の一部へ補助金を交付しました。（省エネ家電買い替えキャンペーン第2弾）					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 緑と清流の保全					
	指標名	子ども達を対象とした環境イベント等の開催回数				
	単位	回／年	現状値（R元年度）	4	目標値（R7年度）	6
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3	7	8	11	－
	達成率	50.0	116.7	133.3	183.3	－
	埼玉県西部地域まちづくり協議会と連携し、清流保全ポスターを募集し、児童生徒の環境保全への関心を高めることができました。また、小学生によるウグイ放流を行い、清流保全の意識高揚及び「ひだかネイチャーキッズ」を開催し、日高の自然を学びました。					
	02 地球温暖化やその他の環境問題への取組					
	指標名	エコアクション21認証・登録件数				
	単位	件	現状値（R元年度）	1	目標値（R7年度）	5
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	1	1	1	1	－
	達成率	20.0	20.0	20.0	20.0	－
	エコアクション21は、取り組みやすい環境マネジメントシステムですが、認定取得まで時間を要することや書類作成事務に労力を要することが、小規模事業者にとって負担となっています。環境教育を市内小学校等で進めるため、子ども向け脱炭素ロードマップを策定しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 緑と清流の保全		
施策の展開概要	① 日和田山や高麗川をはじめとする豊かな自然環境を次世代に継承するため、緑と清流の保全に取り組みます。 ② 良好な自然環境を保全するため、ふるさとの森第2号地を指定します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
清流保全対策事業	A	西部漁業協同組合、県水産研究所、市内小学校と連携し、ウグイ約2,000匹を高麗川に放流しました。また、市内10河川で水質・水性生物分析調査を実施しました。	環境イベントや環境教育等により、子どもたちへ清流保全に対する環境意識高揚を図る必要があります。
環境課			
1,435			
73			
緑の保全推進事業	A	ふるさとの森第3号地の指定に向けた検討を進めました。また、環境ボランティアとの共催により、植樹会を実施しました。	ふるさとの森第3号地の指定に向けて、土地所有者の意向調査等を進めていく必要があります。
環境課			
2,907			
74			

事務事業評価

施策の展開	02 地球温暖化やその他の環境問題への取組		
施策の展開概要	① 地球温暖化防止対策を推進するため、脱炭素社会の実現に向けた方策を検討するほか、省エネルギー化の取組を進めます。 ② 在来の生態系に影響を及ぼす特定外来生物の防除対策を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
地球温暖化対策推進事業	A	4つの市内小学校及び義務教育学校で地球温暖化対策に係る環境教育を試行実施し、子ども向け脱炭素ロードマップを策定しました。	子ども向け脱炭素ロードマップを用いた環境教育を市内の小学校及び義務教育学校で継続的に実施していく必要があります。
環境課			
15,894			
71			
鳥獣対策事業	A	県アライグマ防除実施計画に基づき、アライグマを376頭捕獲しました。	アライグマの捕獲頭数が著しく増加しているため、効果的な対策を検討する必要があります。
環境課			
3,557			
74			

施策評価

基本方針	04 豊かな自然と調和したまちをつくる					
施策	18 循環型社会					
施策目標	循環型社会構築のため、限りある資源を有効に活用するとともに、衛生的な生活環境を確保するため、市民生活から排出される廃棄物を適正に処理します。					
評価指標	指標名	市民1人当たりの可燃ごみ排出量				
	単位	kg／人	現状値（R元年度）	192	目標値（R7年度）	183
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	195.8	194	183.7	184.5	－
	達成率	△42.2	△22.2	92.2	83.3	－
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	947,465	989,925	1,006,643	1,010,403	－
	実績	936,376	965,755	951,230	989,746	－
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	家庭系可燃ごみの量について、前年度と比較して1人当たりの年間排出量が0.8キログラム増加したことなどから、指標数値達成に向け分別徹底等について啓発を進める必要があります。新たに、保育所等の公共施設を対象とした廃食油のリサイクルに関する取組を開始しました。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 ごみの減量と再資源化の推進					
	指標名	ごみ総排出量				
	単位	t	現状値（R元年度）	17,642	目標値（R7年度）	16,211
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	17,253	16,972	16,160	16,163	－
	達成率	27.2	46.8	103.6	103.4	－
	前年比で、可燃ごみの排出量が増加したことから、更にごみ削減に取り組む必要があります。ごみの減量化や資源化についての周知として小学4年生を対象に「環境教育講座」を実施しました。ゼロカーボンの推進等のため、市内全世帯を対象に、バイオマス素材を含有したごみ袋を配布しました。					
	02 ごみの適正な処理					
	指標名	ごみリサイクル率				
	単位	%	現状値（R元年度）	99.7	目標値（R7年度）	99.8
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	99.7	99.7	99.7	99.8	－
	達成率	99.9	99.9	99.9	100.0	－
	家庭系可燃ごみについては、セメント工場での資源化処理のほか、古紙、古布、ビン、缶等6分別による安定的な収集、運搬、処理、資源化を行いました。65歳以上の世帯について、粗大ごみ、大型木製品等の戸別収集を開始しました。					
	03 し尿の適正な処理					
	指標名	合併処理浄化槽の設置割合（再掲）				
	単位	%	現状値（R元年度）	72.6	目標値（R7年度）	75.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	74.1	74.4	74.6	74.9	－
	達成率	98.8	99.2	99.5	99.9	－
	入間西部衛生組合の管理費を負担し、し尿や浄化槽汚泥の収集運搬及び処理を適切に行いました。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促し、公共水域の保全を図ることができました。					

事務事業評価

施策の展開	01 ごみの減量と再資源化の推進		
施策の展開概要	① 家庭ごみや事業所から排出される一般廃棄物を減らすための取組を推進します。 ② 循環型社会構築のため、不要物をごみとして処理するのではなく、3Rを推進し、限りある資源の有効活用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
ごみ減量化再資源化推進事業	A	集団資源回収実施団体に対して適正に報償金を交付しました。保育所等の公共施設を対象とした廃食油のリサイクルに関する取組を実施しました。	家庭系可燃ごみの量を前年度と比較すると一人当たり年間0.8kg増加しているため、より啓発活動等に努める必要があります。
環境課			
23,291			
75			

事務事業評価

施策の展開	02 ごみの適正な処理		
施策の展開概要	① 衛生的な生活環境を確保するため、市内で排出されるごみ（一般廃棄物）の継続的、安定的な収集・処理体制を確立します。 ② 循環型社会構築のため、限りある資源の有効活用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 （良かった点、成果を上げた点など）	改善すべき事項 （問題点、課題点、解決方策など）
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
環境美化推進事業	A	地域の清掃活動を行うことにより、ごみを捨てにくい環境づくりができました。また、不法投棄等については、各関連機関とも連携を図り対応しました。	今後も継続して不法投棄防止パトロールや不法投棄物の早期撤去に努めていく必要があります。
環境課			
10,710			
75			
清掃総務事務	A	各協議会に参加し、知識向上を図ることができました。特別管理産業廃棄物管理責任者及び職長・安全衛生責任者の資格取得を通じて、人材を育成することができました。	職員が業務に必要な資格の取得や知識向上のための研修会などへ積極的に参加し、計画的な人材育成を進めていく必要があります。
環境課			
70			
76			
塵芥処理事務	A	粗大・金属ごみを適正に受け入れました。また、有害ごみをリサイクルしやすい状態で保管できました。	清掃センター焼却施設については、稼働を停止してから約22年が経過し、施設の老朽化による安全性の面から今後の計画を明確にする必要があります。
環境課			
617			
77			
一般廃棄物収集運搬処理事業	A	ごみの収集、運搬及び処理について円滑に実施することができました。	安定的、かつ継続的にごみの収集、運搬及び処理体制を確保していく必要があります。
環境課			
839,133			
77			
一般廃棄物最終処分場維持管理事業	A	一般廃棄物最終処分場について、円滑に運営することができました。地元報告会を実施し、周辺地区に理解と協力が得られるよう努めました。	日常的な点検は実施していますが、緊急な故障等が発生する可能性もあるので、修繕計画を見直し適切な時期に修繕を実施する必要があります。
環境課			
15,876			
78			
ごみ資源化処理施設周辺整備事業	A	一般廃棄物の資源化処理実施に伴うごみ資源化処理施設の周辺環境整備を進めました。	周辺環境整備として排水整備を行っていますが、計画的かつ、費用対効果を考慮しながら実施する必要があります。
環境課			
4,351			
78			
一般廃棄物処理業等許可事務	A	2年毎に更新の必要がある一般廃棄物（ごみ及びし尿）及び浄化槽清掃業の許可についての更新事務を適正に行いました。	一般廃棄物処理業等の許可事務について、申請手続を簡潔に行うことができるように、申請書類の記載事項や添付書類等について、改善する必要があります。
環境課			
0			
-			
清掃センター解体及び新施設整備事業	A	解体に伴う今後のスケジュールについて研究しました。	清掃センター焼却施設については、稼働を停止し約22年経過しています。施設の老朽化による安全性の面からも、解体や跡地利用について検討する必要があります。
環境課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	03 し尿の適正な処理		
施策の展開概要	① 衛生的な生活環境を確保するため、入間西部衛生組合及びし尿収集運搬事業者と連携し、し尿を適正に処理します。 ② し尿処理施設の効率的な運営を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入間西部衛生組合事務	A	入間西部衛生組合において、日高市及び入間市のし尿及び浄化槽汚泥の収集、運搬及び処理に関する事務を共同処理しました。	当該施設の運営については、長期的、計画的に運営できるよう、入間西部衛生組合及び入間市と調整をしていくことが必要となります。
環境課			
93, 234			
79			
し尿収集運搬手数料軽減事業	A	し尿の収集、運搬手数料について、市内の地域差が生じることなく、し尿が収集されました。	汲み取り世帯の減少とともに、交付金の適正金額等について配慮していく必要があります。
環境課			
2, 464			
79			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	19 農林業					
施策目標	農地及び山林の有効活用を図り、魅力ある農産物の生産力を高め、農林業の振興に取り組みます。					
評価指標	指標名	農林業の取組に対する満足度				
	単位	点(5点満点)	現状値 (R元年度)	2. 83	目標値 (R7年度)	3. 00
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3. 08	3. 17	3. 11	3. 13	—
	達成率	102. 7	105. 7	103. 7	104. 3	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	51, 732	59, 123	35, 576	42, 843	—
	実績	46, 862	51, 383	33, 200	36, 328	—
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	認定農業者等の経営規模拡大のため、農地集積に係る利用調整を行いました。認定農業者に対して農業制度資金等の情報提供を行いました。就農を希望する個人や農業参入を希望する法人に対して、就農に係る制度説明や農地のあっせんなどの支援を行いました。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 農業の振興					
	指標名	遊休農地面積				
	単位	ha	現状値 (R元年度)	60	目標値 (R7年度)	40
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	58	53	69	73	—
	達成率	10. 0	35. 0	△45. 0	△65. 0	—
	農業者及び農業参入を希望している企業に対して、利用調整を行い、農地の有効活用を図りました。しかしながら、利用に係る調整等に期間を要する事象も発生しており、手続の方法等について検討が必要です。					
	02 魅力ある農産物の生産支援					
	指標名	認定新規就農者数				
	単位	人	現状値 (R元年度)	2	目標値 (R7年度)	10
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	9	9	4	3	—
	達成率	90. 0	90. 0	40. 0	30. 0	—
	特産品の販売促進、農産物の地産地消の拡大を図るため「ひだかdeマルシェ」（計8回）を開催しました。また、旬を迎えた特産品について、市ホームページや記者クラブを通じて情報提供を行うなど、広報活動に努めました。					
	03 林業の振興					
	指標名	森林間伐面積				
	単位	ha	現状値 (R元年度)	97	目標値 (R7年度)	110
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	100. 5	100. 5	100. 5	101. 1	—
	達成率	91. 4	91. 4	91. 4	91. 9	—
	森林環境譲与税を活用のため、森林所有者に対して森林管理に関する意向調査を実施しました。ふるさとの森第2号地（高指山）の頂上付近の森林について、間伐等の環境整備を行いました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 農業の振興		
施策の展開概要	① 遊休農地の解消を促進し、農地の有効活用を図ります。 ② 鳥獣被害対策の更なる充実を図ります。 ③ 担い手の育成・確保を推進します。 ④ 埼玉県と連携し、6次産業の推進を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
農業委員会運営事務	A	委員との連携により、総会の運営、広報活動を適正に行いました。総会、遊休農地の調査等について、タブレット端末を活用し、事務の効率を図りました。	農地法や関係法令に基づき、農地及び農地所有者の状況把握に努め、農地の有効利用を図る必要があります。
農業委員会事務局			
11,622			
258			
農業総務事務	A	農業関係団体の研修等に出席し、職員の資質向上を図ることができました。	WEBによる会議が増加していること、ペーパーレスの推進により、職員が持ち出すことのできる端末等整備の必要があります。
産業振興課			
547			
83			
遊休農地活用促進事業	A	新規就農者や農地の規模拡大を希望する農業者に対して、利用調整を行うとともに、農地中間管理事業を推進し、農地の有効活用を図りました。	市民農園の運用や維持管理について、適切に判断していく必要があります。
産業振興課			
71			
84			
担い手農家育成事業	A	効率的かつ安定的な経営体を目指す農業者に対し、補助金の交付等を行い、農業者の経営安定を図ることができました。	各種補助金制度を活用するなど、認定農業者等の経営に対する支援を継続していく必要があります。
産業振興課			
405			
84			
農業後継者対策事業	A	児童及び生徒が農業体験する機会を設け、農業後継者の育成に対する啓発を行いました。また、次世代を担う新規就農者5名に対し、資金支援を行いました。	農業後継者の育成及び確保を図るために、更なる支援策を検討する必要があります。
産業振興課			
5,112			
85			
農業振興地域整備計画事務	A	関係法令及び運用方針に沿って、適切に農地の保全を図りました。	農業振興地域農用地を保全するため、計画に沿った運用をしていく必要があります。
産業振興課			
129			
85			
農村集落施設維持管理事業	B	農村研修センター及び農村広場について、適切に維持管理を行いました。	公共施設再編計画に基づき、適切に運用していく必要があります。また、研修センターの廃止に向けて調整、準備を進めていく必要があります。
産業振興課			
2,586			
86			

有害鳥獣駆除対策事業	A	小型箱わなを購入し、小型鳥獣への対策を強化しました。大型鳥獣については、猟友会と連携し捕獲数が増加しました。	有害鳥獣駆除の実施方法や体制など関係機関と連携し、強化していく必要があります。
産業振興課			
825			
86			
家畜防疫事務	A	畜産協会と連携し、家畜伝染病予防等に努めることができました。	家畜農家の経営維持と安全な食品を供給していくため、支援する内容について、検討する必要があります。
産業振興課			
434			
88			
土地改良事務	A	農業用ため池の機能維持及び安全管理対策を徹底するため、適正に維持管理を行いました。	農業用水路、農業用ため池等について、計画的に修繕等を実施し、適切に維持管理していく必要があります。
産業振興課			
3,552			
89			
遊休農地解消事業	A	農業者及び農地所有者の意向を基に、農地の利用集積に係る調整を行いました。	農業委員、農地使用最適化推進委員と連携し、農業者及び農地所有者の状況把握に努め、農地利用に係る調整を推進する必要があります。
農業委員会事務局			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 魅力ある農産物の生産支援		
施策の展開概要	① 付加価値のある農産物の生産を支援するとともに、消費者に農産物を安定的に供給するための安心で安全な農業を推進します。 ② 農協と連携し特産品のPRに努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
特産品創出事業	A	ひだかdeマルシェ等の開催を通じて、特産品の販売促進を図りました。また、旬の特産品情報を記者クラブへ提供する等の広報活動を行いました。	後継者不足等により、生産者が減少しており、生産者及び生産量を確保するための方策が求められています。
産業振興課			
494			
87			
農業者経営安定対策事業	A	経営所得安定対策交付金等の制度周知及び地域計画の策定により、農業者の経営安定を図ることができました。	各種制度の周知や地域計画の更新などを継続的に実施していく必要があります。
産業振興課			
864			
87			

事務事業評価

施策の展開	03 林業の振興		
施策の展開概要	① 関係団体と連携し、林業の振興と森林の整備に努めます。 ② 間伐等の実施により山林の適切な管理と保全を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
緑の募金管理運用事務	A	行政区を通じて、緑の募金運動を実施することで、緑の募金事業を通じた緑化事業の周知を行うことができました。	緑の募金運動に協力が得られるよう、制度周知と募金実績や使途について、丁寧に説明をしていく必要があります。
産業振興課			
1,050			
90			
林業振興事業	A	森林環境譲与税を活用し、林道の維持管理、ナラ枯れ対策など適切に事業を実施しました。	森林意向調査により把握した所有者の管理意向をもとに計画的に森林を整備していく必要があります。
産業振興課			
8,637			
91			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	20 商工業					
施策目標	市内事業者や、市内での創業を支援するとともに、事業者と連携して地域経済の安定的成長と持続的発展を目指します。					
評価指標	指標名	住んでいる地域に活気があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	15.4	目標値（R7年度）	20.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	21.0	22.3	18.0	20.4	－
	達成率	105.0	111.5	90.0	102.0	－
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	147,150	288,456	107,485	16,637	－
	実績	124,189	146,421	85,983	16,533	－
【施策評価】評価責任者	市民生活部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	商工会との共催により、市内での創業希望者及び創業して間もない人を対象に「創業塾」を開催し創業支援、経営者及び後継予定者を対象に事業承継セミナー、埼玉県、ハローワーク飯能との共催で「日高地域合同就職相談会」を実施しました。引き続き、移住・定住応援事業の意味合いを兼ねた多様な働き方のできる環境を整えていく必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 企業への支援					
	指標名	市内事業所売上額				
	単位	百万円	現状値（H27年度）	85,103	目標値（R7年度）	87,600
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	－	90,318	99,682	－	－
	達成率	－	103.1	113.8	－	－
	売上高等が減少している事業者に対して、セーフティネット保証の認定を26件を行いました。小口融資制度の活用について検討する必要があります。					
	02 商工振興活動の支援					
	指標名	市内事業所従業者数				
	単位	人	現状値（H28年度）	23,155	目標値（R7年度）	24,300
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	－	25,322	25,855	－	－
	達成率	－	104.2	106.4	－	－
	商工会を通じて、商工業振興のため、経営指導員による巡回指導や専門指導員による商店・工場の診断などを行う経営改善普及事業、総合的な地域振興を図るための各種事業を支援しました。					
	03 労働環境の改善と就労支援					
	指標名	完全失業率				
	単位	%	現状値（H28年度）	5.4	目標値（R7年度）	4.8
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	－	4.4	4.4	－	－
	達成率	－	166.7	166.7	－	－
	就労を支援するため、ハローワーク求人情報を市ホームページ等を通じて周知しました。また、埼玉県、ハローワーク飯能と本市の共催で「日高地域合同就職相談会」を実施しました。					
	04 多様な働き方のできる環境の実現					
	指標名	民営事業所数				
	単位	件	現状値（H28年度）	1,872	目標値（R7年度）	1,928
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	－	1,823	1,824	－	－
	達成率	－	94.6	94.6	－	－
	移住・定住応援事業として「テレワーク活用移住者支援金」を創設し、7件に交付しました。制度創設後、一定数の利用者がいます。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 企業への支援		
施策の展開概要	① 地域の産業を活性化するため、農業・工業・商業のバランスの取れた産業の振興を支援します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
中小企業事業資金融資事務	A	売上高等が減少している事業者に対して、セーフティネット保証の認定を行いました。	小口融資制度の在り方について検討する必要があります。
産業振興課			
5,000			
92			
小規模企業振興事業	A	創業を目指している方や創業されて間もない方などを対象に全5回の創業塾を開催しました。また、事業承継セミナーを商工会と合同で開催しました。	今後も審議会を開催し、関係者等からの意見を伺いながら効果的な事業を実施していく必要があります。
産業振興課			
839			
92			
電気工事業の登録事務	A	市内で受付を行うことにより、市内事業者の利便性を向上させることができました。	登録事業者の更新漏れがあるため、対策を行う必要があります。
産業振興課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 商工振興活動の支援		
施策の展開 概要	① 商工業事業者の経営の安定化を図り、地域経済を活性化するため、商工業事業者等を支援します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
商工振興活動団体支援事務	A	補助金を交付することにより、商工会事業の実施を支援することができました。	商工業の活性化を図るため、引き続き商工会と連携して事業を行っていく必要があります。
産業振興課			
10,500			
93			

事務事業評価

施策の展開	03 労働環境の改善と就労支援		
施策の展開概要	① 労働トラブル等の解決を支援します。 ② 関係機関と連携し、就労・就業を支援します。 ③ 就業の場創出のための施策を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
労働相談事業	A	随時相談ができる体制を整え、相談の機会を速やかに提供することができました。社会保険労務士の資格を持った相談員が助言等を行い、労働環境の向上を図りました。	労働相談の制度が広く認知されるよう、周知を拡大する必要があります。
産業振興課			
104			
82			
就労支援事業	A	内職相談を実施し、相談者の希望に適した事業所をあっせんすることができました。また、就労支援セミナーを開催し、市民の就労意欲及び知識の向上を図りました。	就労支援セミナーの参加者が増加するよう、開催日程やセミナー内容を検討する必要があります。
産業振興課			
90			
82			

事務事業評価

施策の展開	04 多様な働き方のできる環境の実現		
施策の展開概要	① 都心から約1時間で往来でき、災害に比較的強い地域であるという利点を活用した多様な働き方のできる環境を実現します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
働き方環境等調査研究事務	A	サテライトオフィスやワーケーションなどの調査・研究を進めました。	サテライトオフィスやワーケーションなど、時代の変化や生活スタイルの多様化に合わせた働き方の調査・研究が必要です。
政策秘書課			
0			
-			

施策評価

基本方針	05 魅力にあふれ活気に満ちたまちをつくる					
施策	21 観光					
施策目標	本市の財産である自然や歴史を生かし、観光地としての魅力を高めます。					
評価指標	指標名	住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	29.9	目標値（R7年度）	30.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	22.0	20.2	20.7	18.7	－
	達成率	73.3	67.3	69.0	62.3	－
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	63,243	89,292	136,771	139,171	－
	実績	55,603	81,201	131,630	133,605	－
	【施策評価】評価責任者	市民生活部長				
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	巾着田周辺の利活用（河川有料化、民間事業者の活用、関係施設の商業利用）のため、協議会、検討委員会の開催や庁内会議への報告を行い、関係事業に関する実証実験を実施しました。巾着田曼珠沙華まつりにおいて、新たな取組として巾着田曼珠沙華公園ライトアップ実証実験（第2回）を行いました。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 自然と歴史を生かした観光地整備の推進					
	指標名	観光入込客数				
	単位	千人／年	現状値（R元年度）	3,963	目標値（R7年度）	4,069
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	2,841	2,997	3,100	3,062	－
	達成率	69.8	73.7	76.2	75.3	－
	古民家サポーターズクラブと連携し、歳時記に合わせた各種イベントを開催しました。					
	02 広域で連携した観光の推進					
	指標名	巾着田年間来場者数				
	単位	人／年	現状値（R元年度）	639,624	目標値（R7年度）	658,800
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	246,372	402,211	426,284	413,111	－
	達成率	37.4	61.1	64.7	62.7	－
	観光協会、各種団体と連携し、春まつり、巾着田曼珠沙華まつり、はんのうひだかパンフェスタを実施し、観光誘客を図りました。また、巾着田曼珠沙華まつりにおいて、巾着田曼珠沙華公園ライトアップ（第2回）を行いました。					
	03 観光誘客の推進					
	指標名	観光協会ホームページ閲覧数				
	単位	件	現状値（R元年度）	203,785	目標値（R7年度）	210,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	22,375	189,445	198,839	－	－
	達成率	10.7	90.2	94.7	－	－
	巾着田公園周辺の適正管理に努め、遠足、川遊び、イベント等を実施し観光誘客の推進を図りました。「川の再生水辺ｄｅベンチャーチャレンジ」について、有料化、商業利用「実証実験」を実施しました。市民まつり（11月9日・10日）を開催し、2日間で約4万人の来場がありました。					
	04 魅力を活用した体験型観光の推進					
	指標名	体験型観光メニュー件数				
	単位	件	現状値（R元年度）	0	目標値（R7年度）	20
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0	0	0	2	－
	達成率	0.0	0.0	0.0	10.0	－
	巾着田の天神橋付近に鯉のぼりの川渡しを実施しました。SNSを活用し、遠足の聖地のPRを行いました。市内観光のため「お散歩マップ」を作成しました。体験型の観光事業を取り入れ2件（遠足の聖地に係るスタンブラリー、古民家カフェ）実施しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 自然と歴史を生かした観光地整備の推進		
施策の展開概要	① 豊かな自然と歴史的財産を生かし市への来訪者をおもてなしするため、特色ある観光地整備を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
高麗郷古民家等利活用事業	A	高麗郷古民家サポーターズクラブの協力により、歳時記関連のイベントや展示を行うことができました。	歳時記に合わせたイベントを引き続き開催し、地域の伝統・文化の継承に努める必要があります。
産業振興課			
8,934			
94			
観光地美化事業	A	観光地の美化活動を近隣ボランティア団体等に委託することにより、ハイキングコースや河原等をきれいな状態にすることができました。	美化清掃活動を委託している団体や個人の高齢化により、活動の継続が困難になることが想定されるため、今後どのように実施するか検討が必要です。
産業振興課			
6,352			
94			
市民釣り堀維持管理事業	A	市民の憩いの場となる市民釣り堀の管理を近隣住民に委託することにより除草作業など適切に実施することができました。	施設廃止に向け、具体的な実施内容等を検討する必要があります。
産業振興課			
331			
95			

事務事業評価

施策の展開	02 広域で連携した観光の推進		
施策の展開概要	① 地域的な結びつきを活用し、観光地としての魅力を高めるため、広域で連携した観光振興を推進します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
観光振興活動団体支援事業	A	観光協会に補助金を交付し、本市の特色を生かした観光誘客を図るためのイベントや観光PR等を支援しました。	観光協会の事業拡大等に伴い、補助金の増額について検討する必要があります。
産業振興課			
600			
96			
観光活性化事業	A	巾着田春まつりやはんのう・ひだかパンフェスタを実施し、観光誘客を図ることができました。	観光協会や関係団体等との連携を強化し、年間を通じた観光をより推進していく必要があります。
産業振興課			
1,838			
95			

事務事業評価

施策の展開	03 観光誘客の推進		
施策の展開概要	① 多くの観光客を誘致し、観光地のにぎわいを創出するため、市の魅力発信を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
マスコットキャラクター活用事業	A	市内外のイベントに参加し、マスコットキャラクターの着ぐるみによるPRを行いました。	着ぐるみの貸出が定数となってきたことや着ぐるみに破損が生じているため、活用方法等について検討する必要があります。
産業振興課			
123			
96			
巾着田維持管理事業	A	巾着田を適正に管理することで、遠足や川遊び、曼珠沙華まつり等、観光客で賑わいの創出を図りました。また、年間を通した利活用の実証実験を行いました。	巾着田の魅力ある原風景の維持のため、中長期的な視点で持続可能な観光地域づくりについて検討していく必要があります。
産業振興課			
107,442			
97			
日高市民まつり開催事業	A	2日間で約4万人に來場していただき、賑わいを創出することができました。	來場者駐車場の確保や警備人員の確保等、安全面の対策を周辺環境の変化に合わせて、随時改善していく必要があります。
産業振興課			
6,000			
97			
ロケーションサービス事業	A	高麗郷古民家や巾着田曼珠沙華公園といった観光資源を映画やテレビの撮影に利用してもらうことにより、市の魅力を発信することができました。	今後も積極的な受け入れを行っていく必要があります。
産業振興課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	04 魅力を活用した体験型観光の推進		
施策の展開概要	① 本市の魅力を生かしたエコツーリズムなどの体験型の観光を推進することで、本市を訪れるひとの流れをつくります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
遠足の聖地プロジェクト事業	A	鯉のぼりの川渡しやSNSを用いた遠足の聖地のPRやスタンプラリー等を実施しました。	鯉のぼりの掲揚撤去費用の改善と遠足の聖地認知度向上のため、各施設の年間を通じた利活用について検討する必要があります。
産業振興課			
1,985			
98			

施策評価

基本方針	06 生涯にわたり生きがいを持って学べるまちをつくる					
施策	22 生涯学習・社会教育					
施策目標	誰もが生涯にわたって、自分を磨き、能力や経験を最大限に発揮し、地域や社会に生かすことで心豊かな人生を送れるよう、市民の生涯学習を支援します。また、健康で明るく、活力ある市民生活を送れるようスポーツ・レクリエーション活動を支援します。					
評価指標	指標名	生涯学習活動に参加している人の割合				
	単位	%	現状値 (R元年度)	11.3	目標値 (R7年度)	12.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	9.3	11.5	8.9	9.1	—
	達成率	77.5	95.8	74.2	75.8	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	1,012,064	770,018	381,623	446,648	—
	実績	338,451	872,856	333,216	428,372	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	第11回日高かわせみの里ツーデーウォークの開催については、NPO法人埼玉県ウォーキング協会をはじめ、市内関係団体や生徒ボランティアのご協力をいただき、円滑に開催することができました。また、参加者数は5,397人で、前年を461人上回る方に参加いただくことができました。また、公民館活動を含む各種事業や教室、講座についても、多くの方に参加していただくことができました。このほか、文化体育館の指定管理者を円滑に選定することができました。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 生涯学習の推進					
	指標名	出前講座受講人数				
	単位	人	現状値 (R元年度)	1,509	目標値 (R7年度)	1,728
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	633	1,227	1,173	721	—
	達成率	36.6	71.0	67.9	41.7	—
	社会教育団体の会議や自主研修などの活動を支援しました。第33回日高ライブラリーカレッジ（全7回）を開催し、受講申込63人、延べ372人の人の受講がありました。生涯学習まちづくり出前講座については、行政編41、市民編55、計96メニューを用意し、32件の講座を行いました。					
	02 公民館の充実					
	指標名	新規サークル数				
	単位	団体	現状値 (R元年度)	0	目標値 (R7年度)	30
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	6	17	12	15	—
	達成率	20.0	56.7	40.0	50.0	—
	市内6公民館を適切に維持管理し、円滑な館運営を行いました。また、高萩北公民館の大規模改修工事を行いました。イベント等では、地区体育祭や文化祭等の開催、青少年、成人、高齢者、家庭教育事業として各種講座等を行いました。このほか、公民館健康事業として、健康運動教室やボッチャ体験教室等を開催しました。					
	03 スポーツ・レクリエーションの振興					
	指標名	ひだかアリーナ利用人数				
	単位	人	現状値 (R元年度)	155,130	目標値 (R7年度)	168,472
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	97,707	96,869	110,930	114,276	—
	達成率	58.0	57.5	65.8	67.8	—
	文化体育館をはじめ、北平沢運動場、横手台グラウンド、市民プールを適切に管理、開放し、多くの方に利用していただきました。また、スポーツに親しみ、楽しめるよう、日高かわせみの里ツーデーウォーク、かわせみマラソン大会や三道大会をはじめ、ペタンク大会やモルック大会等を開催しました。					
	04 読書に親しめる環境の整備					
	指標名	市民1人当たりの貸出冊数				
	単位	冊	現状値 (R元年度)	4.9	目標値 (R7年度)	6.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	5.3	5.3	5.2	4.9	—
	達成率	88.3	88.3	86.7	81.7	—
	多くの方が読書に親しめるよう、図書館を開館するとともに図書館まつりや企画展を開催しました。また、遠方の方にも図書の貸出ができるよう、移動図書館車の巡回や各公民館での本の貸出等を行いました。引き続き、市民ボランティアの方と協働し、学校訪問おはなし会やブックトーク等を展開することができました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 生涯学習の推進		
施策の展開概要	① 市民の誰もが生涯にわたって学ぶことのできるよう、社会の変化に対応した講演会や諸集会等の学習の機会を提供します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
生涯学習推進事務			
生涯学習課	A	地域学校協働活動推進員連絡会を開催し、地域学校協働活動の専門研修を行い、地域学校協働活動本部の活動支援を行いました。	地域学校協働活動本部の活動支援を行い、継続的かつ活発に活動していく必要があります。
2,038			
228			
日高ライブラリーカレッジ開催事業	B	市民の企画運営委員会を中心に、講座の企画、運営が実施されました。受講生から新規の企画運営委員の参加がありました。	参加者の固定化、委員の高齢化に対し、新規の参加者、新規のスタッフの参画及び集客力のある講義内容を設定する必要があります。
生涯学習課			
220			
229			
人づくり支援事業	A	市民のニーズに応じた内容や講師を派遣することができました。	有効に事業を展開するためには、講師の発掘や登録講師の活用が必要です。
生涯学習課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 公民館の充実		
施策の展開概要	① 市民の生涯学習活動を支援するため、身近な公民館で各種講座等を実施し、学習の機会を増やします。 ② 公共施設再編計画に基づき、施設の老朽化対策として、計画的かつ適正な整備を行います。 ③ 公民館と出張所を併設した新たな高萩公民館を建設し、地域の活動拠点とします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
公民館維持管理事業（教育総務課）	A	老朽化した施設を改修・修繕し、適切な維持管理を行ったことにより、安全に施設を利用してもらうことができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
196,580			
201			
公民館維持管理事業（生涯学習課）	B	令和6年度にて登録サークル団体の使用料減免措置が終了する旨、説明会や公民館だより等で、改めて周知徹底することができました。	引き続き施設の維持管理、館内の安全管理を行います。
生涯学習課			
34,532			
230			
高麗川公民館維持管理事業	A	館内外の美化、整理整頓、危険個所のチェックを行い、安心安全な施設管理に努めました。	公民館の老朽化、備品の破損、劣化が進んでおり、計画的な修繕及び交換が必要です。
生涯学習課			
623			
230			
高麗公民館維持管理事業	A	利用者が利用しやすい施設となるよう、施設やテニスコートの維持管理を適切に行いました。	施設の老朽化が進んでいるほか、利用者の高齢化が進んでおり、バリアフリー化を望む声があります（洋式トイレへの改修、2階に上がる階段の対応）。
生涯学習課			
960			
231			
高萩公民館維持管理事業	A	企画運営委員や高萩南地区スポーツ協会、公民館登録サークル、小・中学校、また地域の多くの方々との協働により公民館運営と事業の推進が図られました。	公民館利用サークルとの情報交換や小・中学校との連携を進めていきます。
生涯学習課			
630			
231			
高麗川南公民館維持管理事業	A	適切な維持管理を行うことにより、安心安全に公民館を利用していただくことができました。	施設の老朽化が目立ってきており、修繕等の対応を行いながら、安心安全な施設管理、利便性の向上を図っていく必要があります。
生涯学習課			
799			
232			
高萩北公民館維持管理事業	A	大規模改修工事に伴い休館期間がありましたが、利用者、地域住民への周知徹底が図れました。また関係機関との調整も円滑に実施することができました。	リニューアルオープンした公民館の稼働率を上げるため、新規事業やサークル団体の支援を強化するなどの必要があります。
生涯学習課			
1,115			
232			

武蔵台公民館維持管理事業	A	毎年実施の施設保守点検や敷地内除草等の維持管理を実施し、施設を安全に利用できました。プロジェクターの備品購入により、講座開催が円滑にできるようになりました。	老朽化により、備品や施設の劣化、破損等が多発しています。安全面を優先に計画的な修繕や交換を進めていきます。
生涯学習課			
957			
233			
公民館青少年教育事業	A	長期休みを利用して、子どもが興味や関心のある講座等を行い、青少年に様々な体験講座を提供しました。	地域の外郭団体や公民館登録サークル等と連携しながら、更に様々な体験講座等を実施する必要があります。
生涯学習課			
217			
233			
公民館成人教育事業	A	市民が参加しやすい事業を企画実施しました。また、公民館だよりにサークル紹介を記載し、利用者を増やしました。	利用者数を増やすためには、若年層が参加する講座を開催する必要があります。
生涯学習課			
287			
234			
公民館高齢者教育事業	A	生活課題の改善に向けた講座(スマホ教室、人権学習、終活講座、落語・音楽鑑賞等)を実施し、高齢者の健幸で生きがいのある生活に寄与することができました。	今後、より一層進展する高齢化に向け、高齢者の関心ごとや生活課題を把握し、多様な講座を計画していく必要があります。
生涯学習課			
161			
234			
公民館家庭教育事業	A	就学時健康診断や中学校での新入生保護者会を利用した子育て講演会は、公民館に来館することが少ない世帯にも語りかける機会となるため有効でした。	保護者の就労等により、平日昼間の講座は参加が困難な場合があるため、休日開催など、親子が参加できるよう工夫する必要があります。
生涯学習課			
304			
235			
公民館体育祭開催事業	A	雨天中止の1地区を除いて、市内5地区で開催することができました。地域のコミュニティ活動に貢献できました。	地域団体と運営の改善を図り、地域の実情に合った体育祭の開催をします。
生涯学習課			
591			
235			
公民館文化祭開催事業	A	地域の特色ある文化祭を開催することができました。	地域の少子高齢化、参加団体の高齢化など今後、文化祭を盛り上げていくため数多くの課題があります。とりわけ若年層の参加したくなる企画の検討が必要です。
生涯学習課			
201			
236			
公民館健康維持事業	A	健幸のまち宣言を推進し、土曜日を中心に健康関連講座「健幸サタデー」を実施することで、健康維持や意識向上を図ることができました。	参加者が固定化気味のため、引き続き楽しみながら健康維持ができるよう年代や体力に合わせた無理のない健康教室を企画検討して、参加者を広げていく必要があります。
生涯学習課			
544			
236			

事務事業評価

施策の展開	03 スポーツ・レクリエーションの振興		
施策の展開概要	① 市民の健康・体力づくりを推進するため、社会体育施設の利用を促進します。 ② 市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるようにするため、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
学校体育施設開放事業	A	多くの市民が利用しており、スポーツの振興が図られています。特に若い世代の利用が多く見受けられ、日中に時間の取れない方の体力維持に役立っています。	学校、指定管理者、利用者の意見を取り入れ、より利用しやすい施設運営を検討していきます。
生涯学習課			
147			
242			
スポーツ推進事務	A	各種スポーツ団体の財政面を支援することで、各団体主体のスポーツ活動を奨励することができました。	引き続き、各団体が主体となって組織の運営ができるよう支援が必要です。
生涯学習課			
5,336			
242			
スポーツ教室・大会開催事業	A	各種スポーツ大会・教室を開催することにより、普段触れ合わないような世代間での交流を図ることができました。	各種スポーツ大会・教室について、毎年同じような方が参加しているため、新規の参加者を増やしていく方法の検討が必要です。
生涯学習課			
5,100			
243			
北平沢運動場維持管理事業	A	地元をはじめ、多くの市民が気軽に運動ができるグラウンドとして利用しており、市民の健康づくりをサポートすることができました。	イベントの開催を希望している団体が増えてきているため、貸出方法及び使用料徴収等の検討が必要です。
生涯学習課			
4,211			
244			
市民プール維持管理事業	A	施設を適正に管理することにより、安心・安全に学校授業を実施できました。また、快適に市民に利用していただくことができました。	近年猛暑が続いているため、暑さへの対策について、各学校及び管理業者を含め検討していく必要があります。
生涯学習課			
19,164			
244			
文化体育館維持管理事業	A	省エネ及び長寿命化を図るため、館内の蛍光灯等について一部LED照明に交換しました。	令和7年度より指定管理者が変更になったことに伴い、施設運営等に支障が出ないよう事業者と連絡を密にしていける必要があります。
生涯学習課			
47,653			
245			
横手台グラウンド維持管理事業	A	多くの市民が気軽に利用できるグラウンドとして利用しており、特に朝晩にはジョギングやウォーキングを楽しむ姿が多くみられました。	計画的な修繕を行っていくとともに、より安心・安全に利用していただけるよう管理業者と連携を密にしていける必要があります。
生涯学習課			
12,335			
245			

事務事業評価

施策の展開	04 読書に親しめる環境の整備		
施策の展開概要	① 様々な行事を図書館ボランティアとの協働で実施するため、ボランティアを養成します。 ② 図書館を利用したことがない人に利用していただくため、催事事業を推進するとともに図書館の魅力のPRに努めます。 ③ 図書館から離れた場所での貸出・返却を可能とするため、公民館への予約本の配送・返却や移動図書館車による貸出・返却を増やします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
読書推進事業	A	一般、児童向け各種行事の開催をはじめ、YA（ヤングアダルト/中、高、大学生）世代向けの展示やビブリオバトルの開催等、幅広い世代の読書啓発に努めました。	幼少期から読書に親しめるように未就学児を対象とした事業やYA世代等が読書に興味を持てるような取組を行う必要があります。
生涯学習課			
755			
237			
図書館運営事務	A	利用の多いシニア向け資料のほか、YA（ヤングアダルト/中、高、大学生）向けの資料や児童図書等の資料を収集する等、市民ニーズに合わせた選書に努めました。	図書館業務の一部委託については、受託者との打合せ、事業の効果検証を行うとともに、図書館の利用促進に取り組む必要があります。
生涯学習課			
93,000			
237			

施策評価

基本方針	06 生涯にわたり生きがいを持って学べるまちをつくる					
施策	23 歴史・文化					
施策目標	先人が築き上げてきた郷土の歴史や伝統を次世代に継承し、学びの提供を行うとともに、充実した芸術文化活動の参加機会を提供します。					
評価指標	指標名	自慢したい地域の風景や名所があると感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	46.4	目標値（R7年度）	48.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	52.9	53.7	47.5	52.2	—
	達成率	110.2	111.9	99.0	108.8	—
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	10,551	10,772	16,837	12,628	—
	実績	9,980	10,372	13,600	11,851	—
【施策評価】評価責任者	教育部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	文化財の保存と活用については、日高の歴史名勝、「ひだか歴史名勝ナビ」に5つを認定、計65件とし、併せて市ホームページで公開することができました。更に令和7年度中には、新たに5件を追加し、計70件の認定に向けて準備を開始しました。また、適切に文化財の保護、保全を行うことができました。芸術・文化の振興については、前期基本計画の成果指標に掲げた「市美術展の出品数」の目標180点を上回る184点を出品していただくことができました。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 文化財の保護と活用					
	指標名	文化財説明板の設置率				
	単位	%	現状値（R元年度）	53.8	目標値（R7年度）	70.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	57.6	61.5	65.3	69.2	—
	達成率	82.3	87.9	93.3	98.9	—
	地域の中で育まれた大切な文化財の保護、保全を行いました。また、ひだか歴史名勝展や市民歴史講座を開催しました。新規に「万葉歌碑（大谷沢）」の説明版を設置しました。日高の歴史名勝については、新たに5件を認定、計65件にしました。更に市ホームページの「ひだか歴史名勝ナビ」で公開しました。					
	02 芸術・文化の振興					
	指標名	市美術展の出品数				
	単位	点	現状値（R元年度）	161	目標値（R7年度）	180
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	155	164	134	184	—
	達成率	86.1	91.1	74.4	102.2	—
	市民の芸術文化の振興を図るため、市美術展、ひだか市民文化祭、子ども俳句展、ファミリーコンサートの開催や文芸ひだかの発行、ひだか郷土かるた（改定版）を作成しました。なお、ひだか郷土かるたの作成に当たっては、市内の小・中・義務教育学校の児童、生徒から絵札の募集を行いました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					

事務事業評価

施策の展開	01 文化財の保護と活用		
施策の展開概要	① 文化財を継承するために、調査及び指定による保存を図ります。文化財の継承のため地域社会全体で文化財を保護する枠組みを作ります。 ② 文化財を活用するために、資料の公開、講座の開催や史跡整備による市民、来訪者への学習の場を提供します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
文化財室維持管理事業（教育総務課）	A	施設を適切に維持管理することにより、文化財を適切に管理・保全することができました。	施設の老朽化に伴い、修繕箇所は増加傾向にあります。限られた予算の中でより効果的、計画的な維持管理を行っていく必要があります。
教育総務課			
440			
202			
高麗郷民俗資料館維持管理事業（教育総務課）	A	老朽化した施設ですが、特に大きな問題点もなく、適正な維持管理を行うことができました。	今後の公共施設の再編を見据えた維持管理を行う必要があります。
教育総務課			
448			
202			
文化財室維持管理事業（生涯学習課）	A	文化財事務、文化財資料や埋蔵文化財の資料整理作業が実施できました。耐火構造施設のため、寄託されている指定文化財などを保管できました。	埋蔵文化財資料整理のスペースが不足しています。また、資料の保管場所が散在しているため、収蔵資料の管理の一元化が必要です。
生涯学習課			
649			
238			
高麗郷民俗資料館維持管理事業（生涯学習課）	A	市の歴史を物語る遺産である民俗資料を保存することができ、常設展示や企画展示を通して市民に公開することができました。	旧高麗公民館施設のため老朽化が進んでおり、他市町村からの資料借用ができません。また、展示の更新が必要です。
生涯学習課			
3,479			
238			
指定文化財維持管理事業	A	文化財管理委託契約や指定文化財補助金の交付を行うことで、文化財の保護、保存、管理ができました。	管理者の高齢化による文化財管理の継承に問題が生じないよう、管理計画を更新する必要があります。
生涯学習課			
1,533			
239			
文化財保護事業	A	文化財説明板を新規に設置し、来訪者への文化財の周知ができました。「ひだか歴史名勝ナビ」に歴史名勝を新たに5件追加し、市ホームページを拡充することができました。	市内に所在する文化財の悉皆調査が今後も必要です。「ひだか歴史名勝ナビ」に関連する説明板や二次元コードの拡充が必要です。
生涯学習課			
847			
239			
埋蔵文化財調査事業	A	遺跡の記録保存を実施することで、開発から埋蔵文化財を保護し、地域の歴史を物語る貴重な資料を残すことができました。	発掘調査件数が多く資料整理作業、報告書刊行が滞っており、調査体制の充実を図る必要があります。散在している資料の保管場所を一元化する必要があります。
生涯学習課			
3,184			
240			

高麗石器時代住居跡遺跡史 跡整備事業	B	市民歴史講座を開催し、縄文時代や高麗村石器時代住居跡遺跡について、理解を深めてもらうことができました。	史跡の追加指定を行い、史跡買い上げや整備計画の策定を進める必要があります。
生涯学習課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 芸術・文化の振興		
施策の展開 概要	① 市美術展などの開催を通じ、市民に芸術・文化活動の発表の場を提供します。 ② 市民の自主的な芸術・文化活動を支援します。 ③ 新たな芸術・文化団体の設立を支援し、芸術・文化の振興を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
芸術文化振興事業	A	市民文化祭、美術展、子ども俳句展、ファミリーコンサートを開催し、幅広い世代が芸術・文化活動に触れる機会を提供しました。	芸術文化の振興を推進するため美術展においては、特設部門（審査対象外）を開設し、更に多数の応募作品及び入場者数を確保する必要があります。
生涯学習課			
1,338			
229			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	24 市民参加・情報共有					
施策目標	市民参加活動や地域コミュニティ活動を活発にするとともに、行政情報の発信や広聴活動の充実により、行政と市民との情報共有を図ります。					
評価指標	指標名	地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと感じている人の割合				
	単位	%	現状値（R元年度）	39.9	目標値（R7年度）	43.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	39.7	39.3	32.9	39.8	－
	達成率	92.3	91.4	76.5	92.6	－
施策コスト ※単位＝千円		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算	103,513	94,330	104,748	127,929	－
	実績	98,812	88,097	95,162	115,895	－
【施策評価】評価責任者	総務部長					
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	市民と行政が協働したまちづくりを進めるため、市民参加条例に基づいた市民参加手続により市民が市政に参加するとともに、社会福祉協議会を通してボランティア団体の活動を支援しました。市の行政情報やイベント情報等について、分かりやすく多様な方法により発信するとともに、移住希望者が本市の魅力を感じられるよう情報発信しました。引き続き、市民参加の活性化及び情報共有の推進、魅力ある情報発信に努める必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 市民参加活動の推進					
	指標名	ボランティア登録団体数				
	単位	団体	現状値（R元年度）	93	目標値（R7年度）	100
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	103	108	109	113	－
	達成率	103.0	108.0	109.0	113.0	－
	市民コメントや審議会等の市民参加手続の実施に当たり、市公式SNSを活用して周知した結果、複数の市民からの意見が寄せられました。社会福祉協議会へ補助金を交付し、ボランティア団体活動の支援により登録団体数の増加につながりました。高齢化による会員不足の解消を図る必要があります。					
	02 地域コミュニティ活動の促進					
	指標名	区加入世帯数				
	単位	世帯	現状値（R元年度）	18,870	目標値（R7年度）	19,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	18,506	18,367	18,090	17,879	－
	達成率	97.4	96.7	95.2	94.1	－
	地域のつながりを高め、地域課題を解決し、安心して暮らしやすいまちづくりのため、コミュニティ協議会への助成を行うとともに、行政の円滑な推進を図り、自治会活動の円滑と地域コミュニティの活性化を支援するため、区運営交付金を交付しました。					
	03 広報広聴・情報発信・情報公開の推進					
	指標名	アプリダウンロード数				
	単位	件	現状値（R元年度）	4,413	目標値（R7年度）	7,500
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	6,711	7,811	7,903	20,010	－
	達成率	89.5	104.1	105.4	266.8	－
	市ホームページで市内外に広く情報を発信し、広報活動の充実に努めました。市民提案箱について、新たに電子申請を追加し、誰でもどこからでも提案できる体制を整えています。また、市公式SNSで最も利用者数が多いLINEによる情報発信により、市民が欲しい情報をスピーディーに検索できる仕組みを整えています。					
	04 魅力を活用した情報発信					
	指標名	ホームページ閲覧数				
	単位	件	現状値（R元年度）	807,534	目標値（R7年度）	850,000
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	2,012,233	1,771,381	1,905,266	1,460,848	－
	達成率	236.7	208.4	224.1	171.9	－
若い世代や子育て世帯の移住希望者が本市で生活するイメージが湧くように、そして市の魅力を感じられるよう、市ホームページ、SNS等を活用して情報発信しました。また、市公式Instagram（インスタグラム）でフォトコンテストを実施し、認知度の向上とフォロワー数の増加を図りました。						
指標名						
単位						
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 市民参加活動の推進		
施策の展開概要	① 市民が市政に参加し、市民と行政が協働して愛着と誇りのある住み良いまちづくりを進めるため、日高市市民参加条例に基づく市民参加の推進を図るとともに、日高市社会福祉協議会のボランティアセンター機能の充実を支援し、ボランティア活動等を振興します。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
市民表彰事務	A	各分野で活躍されている市民の励みとなり、公益的活動が活性化され、市民との協働のまちづくりを推進することができました。	今後も継続的、かつより多くの方々に感謝状を贈呈できるよう、区長や各団体等へ広く周知を図り、被表彰者の把握に努めます。
政策秘書課			
228			
2			
市民参加推進事務	A	対象となる事業の市民参加手続について審議することで、49件の市民参加手続が行われ、効果的な市民参加手続を実施しました。	市民から多くの意見をいただけるよう市民参加手続の周知方法について検討し、市民参加を推進していく必要があります。
総務課			
162			
36			
ボランティア活動等支援事業	A	社会福祉協議会へボランティア活動等振興事業補助金を交付し、14団体の活動を支援するとともにボランティアネットの運営について協議しました。	既存のボランティア団体の会員の高齢化や会員不足などが課題となっており、ボランティア団体の活動情報の発信など様々な面からの支援が必要です。
総務課			
1,278			
43			

事務事業評価

施策の展開	02 地域コミュニティ活動の促進		
施策の展開概要	① 地域におけるつながりを高め、様々な地域課題を解決し、安心して暮らしやすいまちづくりを進めるため、自治会や市コミュニティ協議会の活動を支援し、地域におけるコミュニティ活動の促進を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
コミュニティ組織育成事業	A	かわせみ賞の贈呈や風づくり教室、手づくり風揚げ大会などを実施するコミュニティ協議会に補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の推進に貢献できました。	コミュニティ協議会に加入する団体の高齢化が進んでおり、協議会加入促進のための周知、市民のコミュニティ意識を高める事業を引き続き実施していく必要があります。
総務課			
3,050			
43			
自治組織及び自治団体育成事業	A	行政と地域の情報共有を行うため、月1回の文書交換を行うとともに、自治会加入促進のため、市民課と連携して転入時に自治会加入を働きかけるチラシを配布しました。	地区団体ごとに抱える問題を共有し、問題解決に向けた取組を行う必要があります。
総務課			
30,346			
44			
コミュニティ施設整備補助事業	A	地域コミュニティ活動の拠点整備として補助金を交付することにより、活動の促進を図ることができました。	各区の施設について、全体的に老朽化が進んでおり、改修工事の補助金要望の増加が予想されます。同一年度に工事が集中しないように呼びかけていく必要があります。
総務課			
26,588			
44			

事務事業評価

施策の展開	03 広報広聴・情報発信・情報公開の推進		
施策の展開概要	① 広報ひだか、市ホームページ、SNS、アプリなどを活用し、市からのお知らせや市民が必要とする情報を分かりやすく発信します。 ② 市民提案箱や市ホームページのお問い合わせフォームなどにより市民からの意見や提言を広く受け付け、市政に反映できるよう努めます。 ③ 開かれた市政を推進するために、公文書の適切な整理・保管をするとともに、情報公開条例に基づく公文書の開示の求めに対して適正に対応し、又は市民への説明責任を果たし、市政への市民参加を推進します。また、個人情報を適切に管理するとともに、個人情報保護条例に基づき、制度の適正な運用を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議会報発行事務	A	議会の活動状況を広く周知し議会に対する理解と関心を深めることができました。	議会だよりは市議会議員から構成された議会だより編集委員が主体で作成しています。引き続き委員を中心に市民の皆さんが親しみを持てるような議会報の作成に努めます。
議会事務局			
1,563			
252			
議会会議録調製等事務	A	冊子による会議録及び委員会録の調製と会議録検索システムによる情報提供ができました。インターネットによる議会の録画配信により、本会議の様子を公開できました。	インターネットによる録画配信については、閲覧者数が増加するような取組を検討します。
議会事務局			
4,054			
252			
法規審査事務	A	条例改正等の制度改革について、法規審査会を開催し、適正な審査を行いました。	地方分権の進展に伴い、法規審査が必要な案件が増加しています。職員全体の法制執務に関する資質・能力の向上を図る必要があります。
市政情報課			
3,476			
13			
文書管理事務	A	業務上の基礎である文書の整理・保管について、法令及び市の基準に基づき、適正に実施しました。このことで、適正な情報公開が実施されました。	保存文書の増加に伴い、保管場所の確保が課題になっています。文書の電子化を見据えた検討が必要になってきています。
市政情報課			
1,779			
13			
情報公開・個人情報保護事務	A	条例に基づく公文書の開示請求に対して適正に対応するとともに、市政に関する情報（個人情報を除きます。）を市民に提供するように努めました。	個人情報保護制度については、新たな制度の下での運用となるため、情報公開制度と合わせ、改めて職員の制度に対する意識啓発が必要です。
市政情報課			
56			
14			
広報事務	B	自治会に加入していない人に広報紙が届けられるように、JR高麗川駅、武蔵高萩駅、小売業者（薬局）に配架したほか、マチイロやマイ広報紙を利用し、配信しました。	広報ひだかでは紙面に限りがあるため、二次元コードを利用するなど市ホームページやSNSを活用し、情報提供していく必要があります。
市政情報課			
8,840			
14			
ウェブ情報発信運営事務	A	Instagramのフォトコンテストの実施やLINE情報発信を強化したことで市民参加が増加しました。	SNS・市ホームページ・広報ひだかなど各メディアの特性を最大限に生かし、情報の連携を強化することで、市民のニーズに合わせた的確な情報発信を実現する必要があります。
市政情報課			
3,541			
15			

文書発送・送達等管理事務	A	コピー機及びコピー用紙等の発注を一元管理することで契約単価の縮減を図るとともにコピー用紙の資料削減を呼びかけました。	印刷やコピーについて必要最小限とするように呼びかけ、紙類の使用料についてより一層の削減を図る必要があります。
総務課			
29,757			
42			
行政手続条例事務	A	各課からの相談に対応し、条例等に基づく処分等の行政手続を適正に行うとともに、根拠についても丁寧に説明するように助言を行いました。	地方分権の進展により、市が処理する事務が増加しています。個々の事務について正しく理解し、運用していくことが必要です。
市政情報課			
0			
-			
広聴事務	A	市民の皆さんからのご意見・お問い合わせやご提案を関係部署に迅速に共有することで、市民の皆さんとのコミュニケーションの円滑化に寄与することができました。	広く市民の皆さんのご意見・お問い合わせやご提案を受け付け、市民の皆さんの理解・納得を得られる回答になるよう的確に関係部署と連絡調整する必要があります。
市政情報課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	04 魅力を活用した情報発信		
施策の展開概要	① 市内外の若い世代や子育て世帯に向けて、本市の様々な魅力を市ホームページやSNS、アプリなどを活用し情報発信することで、「住みたい、住み続けたい」と思う人を増やします。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
移住定住促進事業	A	豊かな自然をはじめとした市の魅力、移住定住を促進するための支援制度である移住・定住応援事業をPRしました。	市の認知度を向上させ、魅力を広く発信するとともに、移住定住につながる支援制度を広く周知する必要があります。
政策秘書課			
1,177			
5			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	25 行政運営					
施策目標	時代のニーズを踏まえ、持続可能で効率的な行政運営を目指します。					
評価指標	指標名	行政運営の取組に対する満足度				
	単位	点(5点満点)	現状値 (R元年度)	2.85	目標値 (R7年度)	3.00
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	3.04	2.93	2.85	2.93	－
	達成率	101.3	97.7	95.0	97.7	－
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	524,908	491,816	565,918	593,589	－
	実績	464,773	448,632	509,636	553,252	－
	【施策評価】評価責任者	総合政策部長				
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	人口減少社会、少子高齢化社会が益々進行する中、新たな行政課題や市民ニーズを踏まえ、民間事業者と包括連携協定を結び、相互の強みを生かした行政サービスの提供を図りました。また、手続きのオンライン化の推進やコロナ禍におけるWeb会議が定着するなど、市民サービスの向上と効率的な行政運営に取り組みました。限られた人員で持続的に行政サービスを提供していくため、近隣自治体との連携を強化するとともに、DXの推進など時代のニーズに合わせた行政運営を行う必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 持続可能な行政運営の推進					
	指標名	職員研修参加者数（延べ）				
	単位	人	現状値 (R元年度)	529	目標値 (R7年度)	800
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	660	1,035	1,045	983	－
	達成率	82.5	129.4	130.6	122.9	－
	行政課題に的確に対応できるように組織・定数の適正配置に努めました。マイナンバーや地方創生に係る事務量が増加し、庁内全体の事務の均衡を図ることが難しくなっています。また、第6次総合計画後期基本計画及び総合戦略の策定事務が大詰め段階を迎えています。					
	02 広域行政・産学官連携の推進					
	指標名	産学官連携事業数				
	単位	事業	現状値 (R元年度)	91	目標値 (R7年度)	100
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	53	86	98	134	－
	達成率	53.0	86.0	98.0	134.0	－
	埼玉県西部地域まちづくり協議会及び脱会した川越都市圏まちづくり協議会の構成市町と公の施設の相互利用を継続しています。包括連携協定を締結している事業者との協働事業については増加傾向です。埼玉医科大学、埼玉女子短期大学及び飯能信用金庫との連携事業が大きく増加しました。					
	03 情報化の推進					
	指標名	行政手続のオンライン化件数				
	単位	件	現状値 (R元年度)	44	目標値 (R7年度)	75
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	210	408	406	407	－
	達成率	280.0	544.0	541.3	542.7	－
	DX推進基本方針及びDX推進計画に基づき取組を進めています。具体的には、事例の創出や経験の蓄積、将来的な手法の確立に向けた基盤づくりを目的としたサービスデザイン実験プロジェクト及び22業務に対するBPRを実施しました。基幹業務システムの標準化については、令和7年度の移行に向けて準備を進めました。					
	04 市民サービスの向上					
	指標名	窓口対応の総合評価（満足度）				
	単位	%	現状値 (R元年度)	84.0	目標値 (R7年度)	90.0
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	83.1	85.7	86.9	89.1	－
	達成率	92.3	95.2	96.6	99.0	－
	死亡に係る各種手続きについて、お亡くなりになった方の諸条件に合わせて、必要な手続きを誘導する「全国自治体おくやみ手続きナビ」という特設コーナーを市ホームページ上に設けるとともに、窓口にお越しのご遺族向けに「おくやみハンドブック」を作成して配布し、手続きが非常に分かりやすくなりました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 持続可能な行政運営の推進		
施策の展開概要	① 限られた経営資源の中、必要な施策を着実に実施するため、各施策、事業の見直しや効率化などの行政改革に努めます。 ② 複雑・高度化する行政課題に的確に対応するため、総合力と柔軟性の高い組織体制を構築します。 ③ 執行機関等における組織及び運営の合理化を図るとともに、適切な事務執行に努めます。 ④ 研修等による職員の能力開発や人材育成を推進し、職員の健康を保持増進するなど、総合的な人事管理体制の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位=千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議員報酬等事務	A	毎年出される人事院勧告及び地方公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正する省令を注視し、事務を進めました。	引き続き人事院勧告及び地方公務員等共済組合法施行規則等の一部を改正する省令を注視していきます。
議会事務局			
115,915			
253			
議会運営事務	A	タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を推進することで、コスト削減と議会運営の効率化を図りました。	引き続きペーパーレス化を推進するとともに、議会運営に係る事務の適正な処理に努めます。
議会事務局			
2,968			
253			
議員研修事務	A	政務活動費をより適正に執行できるようにするため、政務活動費の交付に関する条例と規則を改正しました。効率的かつ効果的な行政視察研修を実施することができました。	引き続き政務活動費の交付及び行政視察研修に係る事務の適正な処理に努めます。
議会事務局			
1,967			
254			
議会図書室管理事務	A	議会図書室を整備し、維持することができました。	議員等への貸出件数が増加するよう、ニーズに合った図書の選定を行う必要があります。
議会事務局			
372			
254			
市長・副市長秘書事務	A	スケジュール管理を適切に行い、市長及び副市長の業務を円滑に遂行することができました。	業務が滞ることのないよう、関係機関等との連携体制を常に整えておく必要があります。
政策秘書課			
2,395			
2			
職員表彰事務	A	職員の勤労意欲、公務遂行意欲の増進が図れました。また、職員用情報ネットワークを活用し、職員へ周知することで、事業のPRが図れました。	更なる勤労意欲、公務遂行意欲の増進が図れるよう、職員への周知法等を工夫する必要があります。
政策秘書課			
3			
3			
争訟事務	A	1件の訴訟事件に対して、顧問弁護士、所管課と調整を図り、適正に対応することができました。	法的紛争に係る事務について、専門的な知識・経験が求められるため、職員の資質・能力の向上を図り、人材を育成する必要があります。
市政情報課			
4			
12			

人事給与関係事務	A	職員採用試験及び昇任試験の試験問題、採点、管理に関し、専門業者を利用することにより、公正かつ安定的な試験の実施を行うことができました。	定年延長制度等による任用形態の多様化、また、制度改正等に対応できるよう、適性な人事・給与情報等の管理を継続的に行っていくことが必要となります。
総務課			
4,520			
37			
職員福利厚生事務	A	健康診断等の事業を計画的に実施したほか、「日高市職員の心の健康づくり計画」に基づき、計画的にメンタルヘルスクアを実施しました。	臨床心理士、産業カウンセラーによるメンタルヘルス相談窓口（電話相談を含みます。）について、更に利用しやすい環境づくりや情報提供に努める必要があります。
総務課			
4,486			
37			
職員能力開発事務	A	本庁舎、各出先機関職員を対象に普通救命講習を実施し、緊急時に応急処置ができる職員を育成しました。また、研修通知を9割以上データ化し、紙使用量を削減しました。	職員の業務能力の向上を図るため、資格取得等支援補助金の制度の周知方法等について見直しを行いながら、効果的に実施していく必要があります。
総務課			
1,423			
38			
総務管理事務	A	市の施設の不備及び業務上の過失に起因する損害賠償責任等に対応するため、保険に加入し、事故等があった場合に備えました。	市が加入する賠償保険について、補償内容や実績に対して保険料が適切であるかの確認及び検討をしていく必要があります。
総務課			
1,138			
38			
平和啓発事業	A	平和記念式典への参列や平和記念資料館等の見学を通じて、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを見聞し、平和に対する意識の高揚を図ることができました。	スケジュールがタイトであるため子どもたちの体力等に配慮し、適切に平和学習に取り組めるようにスケジュール調整が必要です。
総務課			
616			
39			
会計審査事務	A	伝票作成における支援を行い、提出された会計伝票の審査、確認をすることで、適正な会計処理を行うことができました。	特に出納整理期間において、会計伝票の増加による事務量が増加しているため、職員への負担を軽減する体制を検討する必要があります。
会計課			
2			
248			
決算等調製事務	A	決算書の調整と製本及び法定調書の発行を遅滞なく行うことができました。	決算調書と法定調書の作成については、期限があるため、正確かつ迅速に効率的な事務を行う必要があります。
会計課			
3			
248			
現金等出納事務	A	例月出納検査では指摘事項はなく、適正な会計処理を行うことができました。また、振込手数料の削減に向けたスキームを検討しました。	支出伝票の増加による事務量の負担や、それに伴う振込手数料の負担増を軽減させる体制を検討する必要があります。
会計課			
8,507			
249			
収入印紙売りさばき事務	A	パスポートの手續に必要な収入印紙の販売を行い、市民の利便性の向上に努めました。	販売状況により、適切な在庫数の管理を行う必要があります。
会計課			
10,320			
249			

企画総務事務	A	パリ2024オリンピック競技大会マラソン男子日本代表に内定した日高市出身選手の応援を目的とする実行委員会への補助を行いました。	権限移譲において、市民サービスの向上や費用対効果の点を鑑み、事務を受け入れるか引き続き検討する必要があります。
政策秘書課			
768			
5			
総合計画策定及び推進事務	A	第6次日高市総合計画後期基本計画の策定に向け、市民ワークショップ及び学生によるワークショップを実施するとともに、後期基本計画骨子（案）を作成しました。	第6次日高市総合計画後期基本計画策定と併せて、行政評価について、仕組みの見直しを図る必要があります。
政策秘書課			
2,830			
6			
総合戦略推進事務	A	総合戦略における関連施策や事業の取組状況を把握するとともに、設定した数値目標の実績により効果の検証を行いました。	総合戦略を推進するため、関係個所を始め、近隣市町や関係機関と連携した取組を進めるとともに、施策や事業に関する適切な進捗管理を行う必要があります。
政策秘書課			
1,382			
7			
公平委員会運営事務	A	研修会等に参加し、情報の習得に努めることができました。	参加する各種研修会等について精査することで、歳出の削減に努めていきます。
公平委員会			
311			
278			
自衛官募集事務	A	自衛隊入間地域事務所からの広報ひだかへの掲載依頼に対し、滞りなく対応しました。また、二十歳の集いで自衛官募集のパンフレットを配布し周知を図りました。	募集の周知については、広報ひだかへの掲載だけでなくより多くの市民に周知できる方法を検討していく必要があります。
総務課			
0			
45			
選挙管理委員会運営事務	A	選挙人名簿の調整や委員会事務等について、公職選挙法の規定に従い適正に行いました。	選挙管理委員、事務局職員ともに知識の向上のために参加できる研修会等が求められます。
選挙管理委員会事務局			
3,969			
260			
選挙啓発事務	A	若年層の投票率向上のため、18歳の誕生日を迎えた市民へバースデーカードを送付しました。また、中学3年生及び義務教育学校9年生を対象に啓発講座を行いました。	明るい選挙推進協議会と連携し、投票率の向上のため、一層の啓発が必要であると考えます。
選挙管理委員会事務局			
270			
261			
監査事務	A	年度当初に作成した監査計画に基づき、定例監査、財政援助団体等監査及び例月出納検査を実施することができました。	監査委員制度の改正や監査基準など、国、県及び近隣市町村の動向を注視し適宜適切に対応していく必要があります。
監査委員事務局			
1,416			
266			
教育委員会運営事務	A	必要最小限の支出にとどめ、適正な事業を行うことができました。	交際費の支出については、今後も基準に基づいた適正な執行を行う必要があります。
教育総務課			
1,453			
196			

教育委員会総務事務	A	必要最小限の支出にとどめ、適正な事業を行うことができました。	引き続き、教育委員会事務局の適正な運営を行う必要があります。
教育総務課			
1,079			
197			
議会及び議案事務	A	市議会への議案提出及び全員協議会への対応を適正に行うことができました。	地方自治法に規定する議会の議決及び報告が必要な事項について、適切に対応する必要があります。
市政情報課			
0			
-			
職員提案等推進事務	A	随時提案方式における提案が2件あり、うち1件を職員提案報奨基準に基づいて報奨しました。	課題設定方式を設けなかったため、全体として提案件数は減少しました。
政策秘書課			
10			
6			
組織管理事務	A	第6期定員管理計画に基づき、適正な定員管理を行うことができました。	行政課題に迅速かつ的確に対応できるよう組織の体制を検討していく必要があります。
政策秘書課			
0			
-			
行政改革推進事務	A	県が持続可能なまちづくりを支援するプロジェクトである「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に係る地域まちづくり計画策定に向け情報収集を行いました。	行政改革の推進による改善の効果について、市民の声を聞きながら、検証していく必要があります。
政策秘書課			
0			
-			
衆議院議員総選挙事務	A	公職選挙法に基づき、適正に執行することができました。	投票率向上のため、選挙時啓発の強化に努める必要があります。
選挙管理委員会事務局			
28,332			
264			
市長選挙事務	A	公職選挙法に基づき、適正に執行することができました。	投票率向上のため、選挙時啓発の強化に努める必要があります。
選挙管理委員会事務局			
18,963			
262			
市議会議員補欠選挙事務	A	公職選挙法に基づき、適正に執行することができました。	投票率向上のため、選挙時啓発の強化に努める必要があります。
選挙管理委員会事務局			
6,359			
263			

事務事業評価

施策の展開	02 広域行政・産学官連携の推進		
施策の展開概要	① 近隣自治体と連携して、地域資源や特性を生かした魅力と活力あるまちづくりに取り組みます。 ② 企業や大学等と連携し地域の活性化や地域課題の解決に向けた取組を進めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
広域行政推進事務	A	西部地域まちづくり協議会で連携事業を実施するとともに、川越都市圏まちづくり協議会の各構成市町（鳩山町を除く。）との公の施設の相互利用を継続しました。	引き続き、協議会各構成市町（鳩山町を除く。）と公の施設の相互利用を継続していく必要があります。
政策秘書課			
263			
7			
基地対策関係事務	A	関係機関を通じて、航空機騒音の軽減、防音工事の補助対象区域の拡大等を要望し、基地周辺環境の改善に取り組みました。	引き続き、基地周辺対策については、関係市町や関係機関との連携を密に図っていく必要があります。
危機管理課			
51			
52			
広域飯能斎場組合事務	A	広域飯能斎場施設整備計画に基づき、火葬炉メーカーの選定及び設計業者を選定し、基本設計書の作成に着手しました。	引き続き、火葬件数の増加について、施設整備完了までの期間、現状の施設で対応していくための対策を検討する必要があります。
環境課			
50, 227			
72			
産学官連携推進事務	A	連携協定団体と連絡を密にするとともに、各事業においても連携を検討した結果、前年度より36連携事業を増加することができました。	市民サービスを向上するために、今後も連携協定団体と連絡を密にするとともに、新たな連携事業を検討していく必要があります。
政策秘書課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	03 情報化の推進		
施策の展開概要	① 県市町村共同電子申請などの共同システムを活用し、業務の標準化、システムの共同化を推進します。 ② 市民への直接的なサービス向上につなげるためのスマート自治体を推進し、業務の自動化、省力化に伴う情報セキュリティリスクに対応するため、情報セキュリティ確保に努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
I C T 管理運営事務	A	大切な情報を守るためのセキュリティ対策、国の定めた標準仕様に基づく基幹業務システムの改修及び事務機器の維持管理を行いました。	事務の多様化、複雑化に対応するためのデジタル人材が不足しています。また、サイバー攻撃等に備え、職員の情報セキュリティ意識の向上が求められています。
市政情報課			
204,324			
16			
統計調査管理事務	A	登録調査員を対象とした視察研修事業では、視察によって知識を習得するとともに、調査員相互の情報交換の場となり有意義でした。	事務研究会等の会議が書面開催に移行していることから、今後はチャット等のコミュニケーションツールを活用する必要があります。
市政情報課			
211			
17			
各種統計調査事務	A	法令に定める各種統計調査と関連事務を完遂しました。	調査員の高齢化が進んでおり、説明資料を分かりやすいものにする等、安全対策の強化を図る必要があります。
市政情報課			
2,706			
18			
D X 推進事業	A	日高市D X推進計画に基づき、サービスデザインの実験プロジェクトやB P Rなどを実施しました。	最新のデジタルテクノロジー等を活用して市の事業に変革をもたらすためのD X人材が不足しています。今後、D X人材の育成等を強化する必要があります。
市政情報課			
6,021			
16			

事務事業評価

施策の展開	04 市民サービスの向上		
施策の展開概要	① 市民が利用しやすい窓口にするため、他の自治体や民間事業者の有するノウハウを参考に市民サービスの質の向上及び業務の効率化を図ります。 ② 市民が抱える悩みごとや困りごとの解決を支援するため、関係機関との連携を進めながら、相談に応じる機会の充実を図ります。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
人権相談事業	A	人権擁護委員が人権相談や「子どもの人権ＳＯＳミニレター」に回答し、市民の心配ごとや子どもの悩みごとの解決に寄与しました。	複雑な事例にも適切に対応するため、関係各課及び関連する行政機関等との連携を強化していく必要があります。
総務課			
489			
39			
行政相談事業	A	市民の身近な相談の場として行政相談を実施しており、行政に関する意見や苦情等の解決に寄与することができました。	別の相談業務では一回の相談時間は30分を目安にしていますが、相談内容によっては1件の相談時間が長引く可能性があるため、相談員との連携を強化する必要があります。
総務課			
117			
40			
法律相談事業	A	市民からの相談に対して、弁護士が適切な助言を与えることにより、市民生活の安定に寄与することができました。	1人20分という相談時間帯の設定について、市民のニーズを引き続き注視していく必要があります。
総務課			
1,344			
40			
臨時運行許可事務	A	公道を走行することができない未登録車等に対し、特定の目的・条件で特例的かつ一時的に運行を許可することで、社会の円滑な経済活動等に寄与することができます。	臨時運行番号標と許可証の返却期間経過後の未返却者に対し、早めの督促により未返却を防ぐ必要があります。また、自賠責保険証の有効期限の確認に注意が必要です。
市民課			
5			
102			
行政不服審査事務	A	不服申立て事案が生じた場合、職員の中から審理員を指名することになります。審理員の役割について解説した手引書を作成し、制度の周知を図りました。	新たな行政不服審査に対応するため、職員一人一人の意識を高めていく必要があります。
市政情報課			
0			
15			
税務相談事業	A	相談者が気軽に利用できるよう、広報ひだか及び市公式ホームページで開催日時を周知したことにより、相談件数が増加傾向にあります。	予約制ではないため事前に人数の把握ができないことから、受け付けの際に待ち時間などについて丁寧に説明する必要があります。
税務課			
50			
60			
リモート窓口推進事業	A	出張所において、マイナンバーカードの申請サポート事業や本庁等職員とビデオ通話を行うことで、申請率の向上及び市民の利便性の向上につながります。	利用件数の向上を図るため、最寄りの出張所でも、出張所と本庁担当課、各出張所間等でのやり取りが可能であることを更に周知していく必要があります。
市民課			
436			
103			

住民基本台帳事務	A	住居関係の記録を適正に管理し、証明書等を発行することで公正な行政サービスの提供ができました。また、マイナンバーカードの交付申請事務等を適正に行いました。	常に正確かつ適正な業務が遂行できるよう、職員の資質向上に努める必要もありますが、マイナンバーカードの交付事務については、より効率的な運営が求められます。
市民課			
33,001			
104			
戸籍事務	A	多様で複雑化する戸籍届出に対応するため、書籍や通知の情報収集に努め、事務の向上を図りました。届書に添付すべき書類審査を徹底し、適正な戸籍編製を行いました。	窓口で届書を受領する際に、戸籍の記載される内容だけでなく、届出により影響がある手続等についても、届出人へ分かりやすく説明できるように努めます。
市民課			
15,039			
104			
旅券事務	A	申請時、県に支払う手数料のキャッシュレス決済への変更と、オンライン申請の県及び国に支払う手数料のクレジットカード一括納付の可能により、利便性が向上されました。	法改正が随時行われるため、正確かつ迅速な業務が遂行できるよう、窓口業務委託スタッフや職員は知識の向上に努める必要があります。
市民課			
2,927			
105			
コンビニ交付事業	A	マイナンバーカード保有者の増加によりコンビニ交付利用率が対象証明書の市全体申請件数の約21%となりました。	コンビニ交付の利用に必須なマイナンバーカードの申請及び交付率の向上を図るとともに、保有者について、電子証明書の更新を促す必要があります。
市民課			
9,678			
105			
消費生活相談事業	A	若年層に向け、成人式で消費者トラブル対策の本を配布しました。また、消費生活相談員が最新の知識を持って相談対応できるよう、研修参加を支援しました。	消費生活に関するトラブルは多様化、複雑化しており、幅広い年齢層が被害に遭うおそれがあります。被害を未然に防ぐため、様々な形で啓発を行っていく必要があります。
産業振興課			
192			
99			

施策評価

基本方針	07 信頼される行政運営を推進するまちをつくる					
施策	26 財政運営					
施策目標	健全で効率的な財政運営を行います。					
評価指標	指標名	財政力指数				
	単位	—	現状値（R元年度）	0.88	目標値（R7年度）	0.88
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	0.86	0.83	0.81	0.80	—
	達成率	97.7	94.3	92.0	90.9	—
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
施策コスト ※単位＝千円	予算	3,987,395	4,039,213	4,214,765	4,022,773	—
	実績	3,967,072	3,806,938	3,916,677	3,785,138	—
	【施策評価】評価責任者	総合政策部長				
施策目標・評価指標に対する令和6年度の主な成果と課題	将来の財政負担を見据えた地方債の借入れを行うとともに、未利用地等の公共物3件1,756.33㎡の処分(土地売却)を実施しました。また、適正な課税を行い、市税の納期内納付を推進し財源の確保に努めました。電子入札の活用により、透明、公平な公共工事等の入札を行うことができました。今後、自主財源確保に努め、人口の推移や財政状況、施設の劣化状況に合わせて、安全性の確保を図りながら、施設の最適化を推進し、財政運営の健全性を確保していく必要があります。					
各施策の展開に対する令和6年度の主な成果と課題	01 健全な財政運営の推進					
	指標名	将来負担比率				
	単位	%	現状値（R元年度）	—	目標値（R7年度）	350.0未満
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	—	—	—	—	—
	達成率	—	—	—	—	—
	健全化判断比率等の財政指標の算定、統一的な基準による財政書類の作成により財政の健全化が確保されていることを確認し公表しました。埼玉県電子入札共同システムにより、透明・公平な公共工事等の入札を行うことができました。					
	02 財源の確保					
	指標名	市税の収納率				
	単位	%	現状値（R元年度）	97.5	目標値（R7年度）	97.6
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	98.0	98.4	98.5	98.5	—
	達成率	100.4	100.8	100.9	100.9	—
	口座振替、コンビニエンスストア納付や地方税統一QRコードを利用した納付など各種納税方法を用意し、納税の利便性を確保しました。また、納税コールセンターの電話催告等により、自主納付を促し、滞納者には滞納処分を行いました。引き続き、税の公平性の確保、収納率向上に努める必要があります。					
	03 公有財産の適正な維持管理					
	指標名	公共施設の面積				
	単位	㎡	現状値（R元年度）	128,366.79	目標値（R7年度）	10%削減
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	実績値	127,977.7	128,772.1	120,827.6	113,854.3	—
	達成率	3.0	△3.2	58.7	113.1	—
	市有地の適正管理のため未利用地等3件1,756.33㎡の土地を売却(66,154,695円)するとともに、区・自治会等に土地等50件39,889.54㎡の貸付(有料15件：1,387,789円)を行うなど施設や公有財産の最適化を推進しました。空き施設となった2校の学校跡地活用について、学校跡地個別活用計画を策定しました。					
	指標名					
	単位					
	実績値					
	達成率					
	指標名					
	単位					
実績値						
達成率						

事務事業評価

施策の展開	01 健全な財政運営の推進		
施策の展開概要	① 将来の財政負担を見据えた地方債の借入れや将来支出の義務を負う経費（債務負担行為）の設定等を行います。 ② 自然災害など突発的な事情に対処できるように財政調整基金を保有するとともに、公共施設における施設の改修等を踏まえた基金の運用を行います。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
入札・契約事務	A	令和7年度から物品等についても電子入札共同システムを使用できるように改修しました。	庁内の電子決裁が採用されたら電子契約について検討する必要があります。
管財課			
4,014			
28			
工事検査関係事務	A	中立性、公平性に配慮した検査を実施しました。検査を通じて技術の向上、安全対策の指導及び労働者の福祉の増進と雇用の安定について受注者に働きかけました。	工事検査集中期は、検査員の不足が生じるため、担当課の事前調整や技術系職員の配置及び担当課検査の拡充など検討していく必要があります。
管財課			
52			
28			
共通物品管理事務	A	各課の事務で使用する消耗品、封筒の一括購入を行い、事務の効率化を図りました。また、各課で使用する共通物品を、適切に管理することができました。	物価上昇に伴い物品単価が上がっているため、各課所にはコスト縮減に努めてもらうほか、できるだけまとめて発注することで安価に購入できるようにする必要があります。
管財課			
1,009			
29			
財政総務事務	A	予算編成過程や財政状況について、広報ひだかや市ホームページを活用し、公開しました。市債の選択において、交付税措置のあるものや金利の低いものを選択しました。	市債の借入を行う場合は、後年度の財政負担を考慮し、交付税措置のある地方債や利率の低い金融機関等からの借入を行う必要があります。
財政課			
4,447			
20			
市長車維持管理事務	A	点検等のメンテナンスまでを含めたリース契約を締結しており、事務の軽減を図ることができました。任期付職員が専任で運転業務を行い、より安全に遂行できました。	市長公務を安全かつ円滑に遂行するため、引き続き、適切な市長車の運行に努めていく必要があります。
政策秘書課			
1,139			
4			
財政調整基金管理運用事務	A	適切な管理運用を行うことができました。	特にありません。
財政課			
519,445			
21			
減債基金管理運用事務	A	適切な管理運用を行うことができました。	特にありません。
財政課			
80,412			
21			

公共施設整備基金管理運用事務	A	将来を見据えた公共施設整備費の積立てと整備実施に必要な基金の取崩しを行い、公共施設整備基金の適切な管理運用を行うことができました。	公共施設整備費の積立て及び取崩しについては、計画的な管理運用が必要となります。
財政課			
100,310			
22			
民生費国・県支出金等返還事務（生活福祉課）	A	令和5年度中に交付された国・県支出金について、実績に基づき算出し、返還しました。	法令や国・県の定める基準に沿った適正な事務を行う必要があります。
生活福祉課			
23,223			
108			
衛生費国・県支出金等返還事務（保健相談センター）	A	市の財政負担の軽減を図るため、予防接種費用等の一部が補助金等として交付されましたが、実績に基づき超過交付分を返還する手続を適切に実施しました。	国等から支出を受けた補助金等については、適切に精算事務を行う必要があります。
保健相談センター			
36,353			
158			
固定資産評価審査委員会運営事務	A	地方税法の規定に基づき、固定資産評価審査委員会を置き、固定資産課税台帳に登録された事項に関する審査申出に備えました。	固定資産税の審査申出があった場合は、適宜対応できるように備えておく必要があります。
固定資産評価審査委員会			
63			
268			
市債元金償還事務	A	遅延することなく、適正に借入地方債の元金償還を行いました。	特にありません。
財政課			
1,547,699			
23			
市債利子支払事務	A	遅延することなく、適正に借入地方債の利払いを行いました。	特にありません。
財政課			
36,612			
24			
下水道事業会計助成事務	A	遅延なく、適切に支出しました。	特にありません。
財政課			
473,281			
25			
民生費国・県支出金等返還事務（子育て応援課）	A	国・県支出金に係る前年度までの実績に基づき、超過交付分を適正に返還しました。	国・県支出金に超過交付があった場合、漏れなく返還事務を行う必要があります。
子育て応援課			
15,655			
128			
民生費国・県支出金等返還事務（障がい福祉課）	A	令和5年度中に交付された国・県支出金を実績に基づき精算し、超過交付分を返還しました。	適切に返還事務を行うことができました。
障がい福祉課			
74,010			
120			

水道事業会計助成事務	A	エネルギー価格等高騰の影響を受ける市民及び事業者の経済的負担を軽減するために実施した水道基本料金減免事業に係る費用を水道事業会計に助成することができました。	多くの方の経済的負担を軽減することができました。
政策秘書課			
39,938			
9			
用品調達基金管理運用事務	B	用品調達基金は全課の事務を集約することで事務の煩雑化を防止し、基金を活用し一括発注及び一括支払することにより、契約単価が安価に抑えることができました。	物価上昇に伴い、見積不調となる案件が発生し始めているため、担当課への注意喚起を行う必要があります。
管財課			
0			
-			

事務事業評価

施策の展開	02 財源の確保		
施策の展開概要	① 適正な課税を行うとともに、市税の納期内納付を推進することにより、未然に滞納を防止し、安定的な税収の確保に努めます。 ② ふるさと納税制度、企業版ふるさと納税制度の積極的な活用により、更なる自主財源の確保に努めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決方策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
まちづくり寄附金事務	A	ワンストップ特例申請を電子化したことにより、寄附者の利便性を向上させることができ、紙の削減にもつながりました。	より多くの方に寄附いただけるよう、魅力的な返礼品の発掘や広報・宣伝に力を入れていく必要があります。
総務課			
272,633			
41			
企業版ふるさと納税寄附金事務	A	市ホームページ等を通じて寄附を呼びかけました。また、寄附をいただいた起業に感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。	広く多くの企業に企業版ふるさと納税や市の寄附募集事業を知っていただくため、更なる周知が必要です。
政策秘書課			
2,830			
8			
税務証明事務	A	コンビニ交付、キャッシュレス決済を運用したことにより、申請者の利便性が向上しました。	コンビニ交付の利用件数を増やすために、申請者への周知方法等について改善が必要です。
税務課			
9,674			
60			
税務事務	A	税務協議会等に参加し、税務行政に必要な情報収集活動を行うことで、税制改正、システム改修等を適切に行いました。	税制改正やeL T A Xのシステム改修に対応するため、情報収集などの準備が必要になります。
税務課			
85,987			
61			
収税事務	A	研修会に参加し、徴収に関する知識や技術の維持向上に努めました。また、市税の二重納付など、納付年度内に還付することができなかった過誤納金等を還付しました。	徴収に関する知識や技術の維持向のため、引き続き研修会等に参加していく必要があります。また、適切な還付を続けていく必要があります。
収税課			
201			
66			
個人市民税賦課事務	A	コールセンターの設置などによる事前予約を受け付けることで、申告受付をスムーズに行うことができました。	課税事務が遅滞しないよう事務処理方法の体制について研究するとともに、業務委託化などの検討を進めていく必要があります。
税務課			
31,197			
62			
法人市民税賦課事務	A	令和6年4月1日以降に開始する事業年度から法人市民税の法人割の超過課税（不均一課税）を行いました。	税率改正後の法人税割について、引き続き周知を行っていく必要があります。
税務課			
407			
62			

固定資産税等賦課事務	A	法令に基づき、適正な課税ができました。	相続されない固定資産が増加し、相続人調査の事務量が増加しています。住基ネット等を活用し、効率的に事務を行っていく必要があります。
税務課			
44,585			
63			
軽自動車税賦課事務	A	軽自動車保有関係手続のワンストップサービス及び軽自動車税納付確認システムに小型の自動二輪車を追加するシステム改修を適切に実施しました。	軽自動車税（種別割）の障がい者減免件数が増えていることにより、事務量が増加しています。減免手続きの方法を見直すなど効率的に事務を行っていく必要があります。
税務課			
4,681			
63			
市税収納管理事務	A	口座振替、コンビニエンスストア納付や地方税統一QRコードを利用した納付など各種納付方法を用意し、市税を収納しました。	今後も納税者が納付しやすい方法を研究していく必要があります。
収税課			
14,595			
67			
市税滞納整理事務	A	納税コールセンターの設置や催告書を発送するなどし、滞納者へ自主納付を促しました。また、差押などの滞納処分を執行しました。	滞納者に対しては、引き続き自主納付を促す一方、差押などの滞納処分を行っていく必要があります。
収税課			
1,527			
67			
市たばこ税賦課事務	A	法令に基づき適正な課税事務を行うことができました。	令和8年4月1日からの加熱式たばこに係る課税方式の見直しについて、周知を行っていく必要があります。
税務課			
0			
-			
収納率向上対策事務【国保】	A	各種納付方法を用意し、国民健康保険税を収納しました。また、滞納処分を執行しました。	今後も納税者が納付しやすい方法を研究していく必要があります。滞納者に対しては、引き続き自主納付を促す一方、差押などの滞納処分を行っていく必要があります。
収税課			
1,082			
-			

事務事業評価

施策の展開	03 公有財産の適正な維持管理		
施策の展開概要	① 公共施設の安全性を確保するため、計画的に施設の改修等を実施します。 ② 社会情勢の変化を踏まえ、公共施設の複合化や機能集約等に取り組み、施設総量の最適化やライフサイクルコストの縮減を図ります。 ③ 公有財産の適正な維持管理を図り、市が保有する未利用財産の有効活用や売却を進めます。		
事務事業名	評価 ランク	評価すべき事項 (良かった点、成果を上げた点など)	改善すべき事項 (問題点、課題点、解決策など)
担当課			
経費※単位＝千円			
主要な施策の成果説明書頁			
議長車維持管理事務	A	整備を定期的に行うことで、議長公務の安全が確保できました。	引き続き議長公務の安全かつ効率的な遂行に努めます。
議会事務局			
265			
255			
自衛消防管理事務	A	全職員を対象とした庁舎の総合防火訓練の実施により、通報訓練、避難訓練等の知識や技術の向上及び職員間の防災意識の向上が図られました。	庁舎の総合防火訓練実施後における課題の整理等を的確に行い、より充実した訓練となるよう努めていきます。
管財課			
0			
29			
公共施設マネジメント推進事務	A	旧武蔵台中学校及び旧高根中学校の跡地活用を推進させるため学校跡地個別活用計画を策定するとともに、早期活用を図るため学校跡地公募支援業務を実施しました。	公共施設の再編及び最適化や施設廃止後の土地利用は、市民と情報共有を図りながら検討を進める必要があります。
財政課			
8,212			
22			
庁舎等維持管理事業	A	庁舎照明設備ＬＥＤ化改修工事等を行い、適正な維持管理を行いました。また、空調の温度管理の徹底などにより庁舎の節電に努めました。	施設の老朽化による設備等の更新、修繕箇所が年々増加している中、より一層効率的かつ計画的に修繕等を実施していく必要があります。
管財課			
266,659			
30			
公用車維持管理事務	A	公用車の集中管理により、効率的、経済的な車両の運行を行いました。	車両の所有について、入替時期を見据え、費用対効果を考慮し賃貸借等手法を検討する必要があります。
管財課			
12,597			
30			
公有財産維持管理事務	A	公有財産の有効活用を図りました。市有地の適正な管理のため、除草等を行いました。また、原宿地内、高萩地内及び馬引沢地内の市有地を売却しました。	未利用地などの除草等維持管理費用の削減とともに、売却・貸付など、より効果的に財産を活用し、財源確保につながるよう努める必要があります。
管財課			
15,818			
31			
出張所維持管理事業	A	出先機関として、地域住民へのサービスをより図ることができます。	高齢化による交通弱者が増加する中、出張所の存在意義は高まっています。市民サービスの向上に向け、本庁との連絡調整を密に行っていきます。
市民課			
199			
103			

生涯学習センター維持管理 事業	A	施設を適切に管理することにより、利用者に快適で安心安全な環境を提供することができました。施設の計画的な修繕の実施に取り組みました。	各種設備の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕を実施する必要があります。また、道路建設に伴う駐車場の減少が見込まれることから、整備を進める必要があります。
生涯学習課			
41,717			
241			